# 遠隔監視システム

# コルソス CS・D9

# 通報装置

## 工事説明書

第3版

1999年10月

Nitsuko
日通工株式会社

# 安全上のご注意

## 安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

絵表示について
　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。 |

### ⚠ 警告 人が **死亡** または **負傷** を負う可能性が想定される内容です

- ●機器本体から **煙** が出ていたり、**へんな臭い** がする場合にはすぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
- ●機器本体から **異常音** が出ていたり、機器本体やコード類が **異常に高温** になっている場合にはすぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
- ●上記以外でも、機器をご使用中に **異常** と思われる状態になった場合には、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
- ●機器に表示された電源電圧以外の電圧でご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- ●タコ足配線してご使用になりますと、火災の原因となりますので絶対におやめください。
- ●電源コードを破損し断線させたり、内部電線を露出させたままご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり、危険ですので絶対におやめください。
- ●機器本体の上に花びん、コップ、化粧品、植木鉢、薬品や水の入った容器、小さな金属物をのせたままご使用になりますと、こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- ●機器本体をふろ場や加湿器のそばなど、湿気の多いところに置いたり、水がかかる恐れのある場所でご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- ●機器本体内に水や金属、紙などの燃えやすい物が入った場合に、そのままご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険です。万一異物が入った場合には、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくはご相談窓口までご連絡ください。
- ●機器本体を倒したり逆さまにしたままでご使用になりますと火災、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- ●電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げる、無理に引っ張る、ねじる、たばねる、コードの上に重いものをのせることなどは、電源コードを断線させ火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- ●お客様ご自身で機器本体を分解し機器内部の清掃、修理、点検、改造を行うことは火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- ●機器本体に水をかけたり、通風孔などの開口部から金属類や紙などの燃えやすいものを侵入させないでください。また、機器本体を倒したり、落下させたり、物をぶつけるなどの衝撃を与えないでください。火災、感電、故障の原因となり危険です。
- ●ぬれた手で電源コードや電源プラグにさわったり、機器を操作されますと感電の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- ●機器内の蓄電池などの交換をお客様ご自身で行ったり、機器で指定されていない電池を使用されますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- ●周辺装置を架空配線する場合は、避電器など十分な保護対策を行って下さい。

## ⚠注意 人が 傷害 を負う可能性が想定される内容、および 物的損害 のみ発生が想定される内容です

●機器本体を規定以外の設置方法（仰向け、横倒し、逆さまなど）でご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体を収納箱や本棚など風通しの悪い場所に置いてご使用にならないでください。機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体を直接じゅうたんの上や、布団の上に置いてご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体にテーブルクロスなどの通気性の悪いカバーを掛けてご使用にならないでください。通風孔をふさぎ機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体を屋外や直射日光の当たるところ、また冷暖房機の吹き出し口の前などに置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。

●機器本体をゴミやほこりの多い場所、また金属粉や有毒ガスの発生する場所に置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。

●機器本体をテレビ、ラジオ、スピーカや無線機などの強い磁気、電波を発生させる機器のそばに置いてご使用にならないでください。故障、誤動作の原因となります。

●機器本体に乗らないでください。倒れたり破損して、けがをする場合があります。

●長時間機器をご使用にならない場合には電源を切り、安全のためコンセントから電源プラグを抜いてください。

●機器本体に高温の発熱体や熱器具を近づけないでください。溶けて発火したり、変色する場合があります。

●電源コードを高温の発熱体や熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となる場合があります。

●機器本体を壁掛けにしてご使用になる場合には、振動や衝撃等によって落下しないようにしっかりと壁に固定してください。機器が落下して、けがをする場合があります。

●機器本体をぐらいついた台の上や傾いた所、また振動や衝撃を受けやすい場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをする場合があります。

●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となる場合があります。

●コンセントから電源プラグを抜く際は、必ず電源プラグ本体を持って抜くようにしてください。コードを引っ張りますと、コードが傷つき断線したり、火災、感電の原因となる場合があります。

●機器本体を移動させる場合には、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードを傷つけますと、火災、感電の原因となる場合があります。

## お願い 本製品が本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねくことが想定される内容です

**★ご使用にあたり次のお願いをお守りください。**

●機器本体をベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。変色や変形、破損の原因となります。汚れがひどい場合には、布にうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってから拭き取り、その後かわいた布で拭くようにしてください。

●機器本体を落としたり、強い衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。

●機器本体をテレビ、ラジオ、スピーカや無線機などの強い磁気、電波を発生させる機器のそばに置かないでください。故障や、誤動作の原因となる場合があります。

●お客様がご用意された機器を、本システムに接続してご使用になる場合には、あらかじめ販売店もしくはご相談窓口にご確認ください。

**本文で、機器とは主装置などの全ての装置を示します**

# 目　次


1. 概　要 ………………………………………… 1

2. システム構成
2. 1 システム構成例 ………………………………………… 2
2. 2 システム構成品と機能説明 ………………………………………… 3
2. 3 オプションユニットの数量とその時必要になる構成品 ………………………………………… 4
2. 4 各接続機器の機器番号(要素No) ………………………………………… 5

3. システム仕様 ………………………………………… 6

4. 外形寸法および重量 ………………………………………… 7

5. システム定格 ………………………………………… 7

6. 接続(周辺)機器の規格 ………………………………………… 8

7. 設置工事
7. 0 設置工事フローチャート ………………………………………… 9
7. 1 手配品の確認 ………………………………………… 10
7. 2 工事依頼書の確認 ………………………………………… 10
7. 3 設置場所の確認 ………………………………………… 10
7. 4 本システムの取付 ………………………………………… 11
7. 5 ICカードの装着 ………………………………………… 14
7. 6 各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明 ………………………………………… 15
7. 7 オプションユニットの実装 ………………………………………… 22
7. 8 オプションユニットの取付 ………………………………………… 25
7. 9 配線工事 ………………………………………… 26
7. 10 電源投入後の確認 ………………………………………… 35

付録　CS・D9通報装置システム外観図

# 1. 概　要

コルソスCS・D9通報装置は、各種専用ICカード（別売）、各種オプションセット(別売)、増設装置（別売）、MDF　BOX(別売）等を組み合わせて、様々な機能を実現できる通報装置です。
専用ICカードは1枚、オプションセットは最大7セットの実装が可能です。
各種専用ICカードやオプションセットを実装することにより、お客様のニーズに合せたシステムの構築が簡単に実現できます。

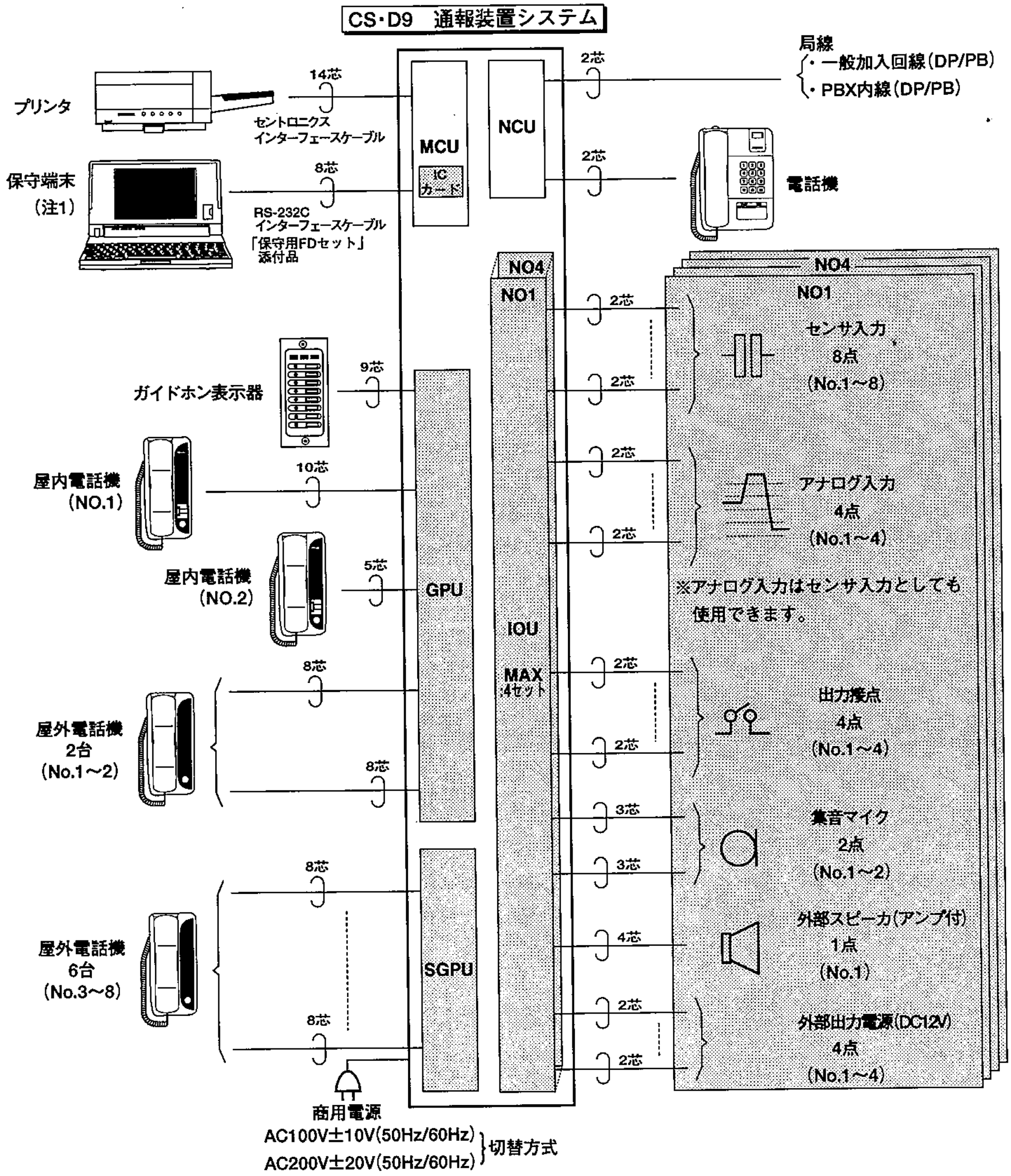
例えばIOUセット（接点入出力ユニットセット）を実装すれば、本装置にセンサ（デジタル／アナログ）が接続できます。
センサからの起動信号により、所定の宛先に自動ダイヤル発信を行い、異常／復旧情報やアナログ値情報を音声メッセージやデータで通報します。
また、テレコントロール機能により、外部の専用受信システムや一般電話機等から回線を通じて、現在のセンサの状態を確認することや、出力接点の遠隔制御を行うことができます。また、集音マイク、外部スピーカを接続し、臨場音聴取や拡声を行うことができます。

また、GPUセット（ガイドホンユニットセット）を実装すれば、本装置に専用緊急呼出電話機（別売）が接続できます。
緊急呼出電話機の操作により、所定の宛先に自動ダイヤル発信を行い、音声メッセージやデータ送出後通話することができます。

# 2. システム構成例

## 2.1 システム構成例

本装置に増設装置、MDF BOXを組合せ、専用ICカード：1枚、オプションとしてIOUセット：4セット、GPUセット：1セット、SGPUセット：1セットを実装した場合の構成例です。




注1. 保守端末は、「保守用FDセット」(別売)が動作可能なパソコンのことです。

## 2.2 システム構成品と機能説明

◆基本装置

| No | 品 名 | 数量 | 機能および構成品 |
|---|---|---|---|
| 1 | CS･D9 通報装置 | 1 | 機能:各種専用 ICカード及びオプションユニットを実装することにより、各機能を実現できます。回線制御ユニット(NCU)が実装されています。<br>実装可能なユニット枚数:<br>･機能ユニット:3枚(内1枚は、ネジ端子ユニット実装可能)<br>構成品( )内は数量:<br>･CS･D9 通報装置(1) ･カギ(2) ･予備ヒューズ(3) ･膜付グロメット(2)<br>･木ネジ(4) ･壁掛け工事シート(1) ･取扱説明書(1) ･工事説明書(1)<br>･販売店並びに取付工事店様へのお願い(1) ･点検チェックリスト(1)<br>･重要回線ラベル(3) ･商品ご相談窓口一覧表(1) ･保証書(1) |
| 2 | CS･D9 増設装置 | 1 | 機能:CS･D9通報装置と接続することにより、機能ユニットを7枚まで実装できます。<br>また、MDU取付けボードセット(別売)を取り付けることにより、機能ユニットとは別にネジ端子ユニットも実装できます。<br>実装可能なユニット枚数:<br>･機能ユニット:4枚<br>･ネジ端子ユニット:4枚(MDU取付ボードセット使用時)<br>構成品( )内は数量:<br>･CS･D9 増設装置(1) ･カギ(2) ･接続ケーブル(1) ･膜付グロメット(2)<br>･木ネジ(4) ･壁掛け工事シート(1) ･取扱説明書(1)<br>･商品ご相談窓口一覧表(1) ･保証書(1) |
| 3 | CS･D9 MDF BOX | 1 | 機能:ネジ端子ユニット実装専用ユニットです。<br>実装可能なユニット枚数:<br>･ネジ端子ユニット:8枚<br>構成品( )内は数量:<br>･CS･D9 MDF BOX(1) ･カギ(2) ･膜付グロメット(2) ･木ネジ(4)<br>･壁掛け工事シート(1) ･取扱説明書(1) |

◆ICカード

| No | 品 名 | 数量 | 機能および構成品 |
|---|---|---|---|
| 1 | CS･D9 ICカード(A)セット | (1) | 機能:通報機能、ガイドホン機能を有したICカードです。<br>構成品( )内は数量:<br>･CS･D9 ICカード(A)(1) ･取扱説明書(1) ･システムデータ設定表(1) |

◆オプションユニット

| No | 品 名 | 数量 | 機能および構成品 |
|---|---|---|---|
| 1 | CS･D9 IOUセット | 1<br>(4) | 機能:接点入出力ユニット(機能ユニット)と配線用ネジ端子ユニットのセットです。<br>センサ等の機器を接続し、各通報機能を実現できます。<br>･センサ入力:8点 ･アナログ入力:4点 ･出力接点:4点 ･外部出力電源:4点<br>･集音マイク:2点 ･外部スピーカ:1点<br>構成品( )内は数量:<br>･CSD9-IOU-A1(機能ユニット)(1) ･CSD9-IOMDU-A1(ネジ端子ユニット)(1)<br>･金属サポート(8) ･取付ネジ(8) ･接続ケーブル(1) ･取扱説明書(1) |
| 2 | CS･D9 GPUセット | (1) | 機能:ガイドホンユニット(機能ユニット)と配線用ネジ端子ユニットのセットです。<br>緊急呼出電話機(別売)を接続し、ガイドホン機能を実現できます。<br>･CD-5屋内電話機端子:2点 ･CD-5N屋外電話機端子:2点<br>･ガイドホン表示器端子:1点 ･屋外電話機個別呼出端子:1点<br>構成品( )内は数量:<br>･CSD9-GPU-A1(機能ユニット)(1) ･CSD9-GPMDU-A1(ネジ端子ユニット)(1)<br>･金属サポート(8) ･取付ネジ(8) ･接続ケーブル(1) ･取扱説明書(1) |
| 3 | CS･D9 SGPUセット | (1) | 機能:ガイドホン増設ユニット(機能ユニット)と配線用ネジ端子ユニットのセットです。<br>GPUセットと接続することにより、CD-5屋外電話機が8台まで接続できます。<br>･CD-5N屋外電話機端子:6点<br>構成品( )内は数量:<br>･CSD9-GPU-A1(機能ユニット)(1) ･CSD9-GPMDU-A1(ネジ端子ユニット)(1)<br>･金属サポート(8) ･取付ネジ(8) ･接続ケーブル(1) ･取扱説明書(1) |

◆オプション品

| No | 品 名 | 数量 | 機能および構成品 |
|---|---|---|---|
| 1 | CS･D9 MDU取付ボードセット | (1) | 機能:CS･D9増設装置に取付けることにより、機能ユニットの上にネジ端子ユニットが実装できます。<br>構成品( )内は数量:<br>・MDU取付ボード(1) ・ボード取付金具(2) ・取付ネジ(8) ・取扱説明書(1) |
| 2 | CS･D9 GPU用ロングケーブル | (1) | 機能:GPUセットの機能ユニットとネジ端子ユニットを接続するロングケーブルです。GPUセット構成品の接続ケーブルでは長さが足りない場合に使用します。<br>構成品( )内は数量:<br>・GPU用ロングケーブル(1) |
| 3 | CS･D9 SGPU用ロングケーブル | (1) | 機能:SGPUセットの機能ユニットとネジ端子ユニットを接続するロングケーブルです。SGPUセット構成品の接続ケーブルでは長さが足りない場合に使用します。<br>構成品( )内は数量:<br>・SGPU用ロングケーブル(1) |

◆保守用品

| No | 品 名 | 数量 | 機能および構成品 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保守用FDセット | 1 | 機能:Windows95対応のシステムデータ編集ソフトです。<br>パソコンにてシステムデータのアップ／ダウンロードが行えます。<br>アップ／ダウンロード方式は、以下の2通りです。<br>①接続ケーブルを使用してCS･D9通報装置に接続し、システムデータをアップ／ダウンロードします。<br>②モデムカード(別売)を使用して遠隔より電話回線を通して、システムデータをアップ／ダウンロードします。<br>構成品( )内は数量:<br>・保守用FD(2) ・接続ケーブル(1) ・取扱説明書(1) |
| 2 | モデムカード | 1 | 機能:上記パソコンで、遠隔より電話回線を通して、システムデータをアップ／ダウンロードする為のモデムカードです。<br>構成品( )内は数量:<br>・モデムカード(1) |
| 3 | 蓄電池12V, 2.7Ah EX1260−0010 | − | 機能:交換および増設用の蓄電池です。蓄電池の寿命は、約2年です。<br>構成品( )内は数量:<br>・蓄電池(1) |

## 2.3 オプションユニットの数量とその時必要になる構成品

| 品 名 | 最大数量 |
|---|---|
| CS･D9 IOUセット | 4 |
| CS･D9 GPUセット | 1 |
| CS･D9 SGPUセット | 1 |

| オプションユニット数 | 必要になる構成品の数量 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | CS･D9 通報装置 | CS･D9 増設装置 | CS･D9 MDF BOX | CS･D9 取付ボードセット | CS･D9 ICカード()セット | CS･D9 ロングケーブル注2 |
| 1セット | 1 | − | − | − | 1 | − |
| 2〜3セット | 1 | − | 1 | − | 1 | − |
| 4セット | 1 | 1 | − | 1 | 1 | − |
| 5セット | 1 | 1 | − | 1 | 1 | − |
| 注1 | 1 | 1 | 1 | − | 1 | 1または2 注3 |
| 6セット | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | − |
| 注1 | 1 | 1 | 1 | − | 1 | 2 |

注1. オプション数5、6セットの場合、2通りの構成が可能です。
「7.7 オプションユニットの実装」を参照願います。
注2. ロングケーブルには、GPUおよびSGPU用の2種類があります。
注3. オプション5セットの組み合わせにより異なります。
5セット＝IOU×4＋GPU×1の場合、GPU用のみ必要となります。
5セット＝IOU×3＋GPU×1＋SGPU×1の場合、GPU用およびSGPU用が必要となります。

## 2.4 各接続機器の機器番号（要素No）

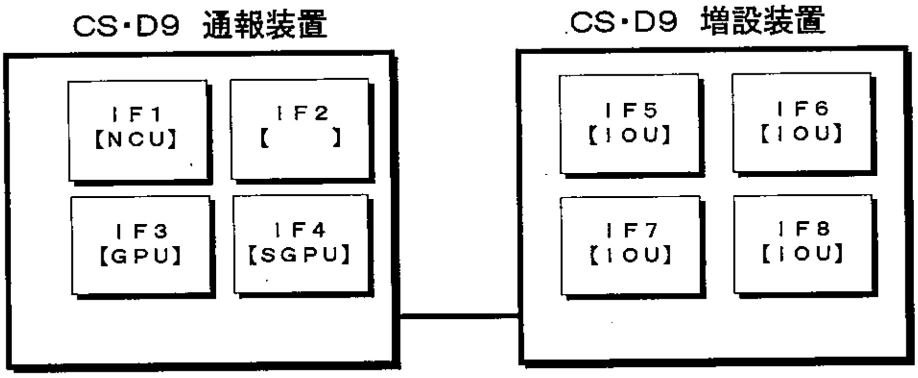
各オプションユニットに接続した機器（センサや緊急電話機等）の機器番号（システムデータの要素No）は、CS・D9通報装置の電源オン時に自動的に設定されます。
機器番号（要素No）の自動設定は、以下の通りです。

(1) 1枚のみ実装可能なオプションユニットの場合
1枚のみ実装可能なオプションユニット（GPUセット等）の機器番号（要素No）は、CS・D9通報装置や増設装置のフリーポートコネクタ（IF2～IF8）のいずれに実装しても固定です。

(2) 複数枚実装可能なオプションユニットの場合
複数枚実装可能なオプションユニット（IOUセット：最大4セット）の機器番号（要素No）は、CS・D9通報装置や増設装置のフリーポートコネクタ（IF2～8）のわか番より自動的に設定されます。

以下にシステム構成例とその機器番号（要素No）を記します。

**システム構成例**




**機器番号（要素No）**

| 品名 | ポート番号 | 機能ユニット | 機器番号（要素No） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | センサ | アナログ（センサ） | 出力接点 | 集音マイク | 外部スピーカ | 屋内電話機 | 屋外電話機 |
| CS・D9通報装置 | IF2 | 空き | | | | | | | |
| | IF3 | GPU | | | | | | 01～02 | |
| | IF4 | SGPU | | | | | | 01～02 | 03～08 |
| CS・D9増設装置 | IF5 | IOU | 01～08 | 01～04 (41～44) | 01～04 | 01～02 | 01 | | |
| | IF6 | IOU | 09～16 | 05～08 (45～48) | 05～08 | 03～04 | 02 | | |
| | IF7 | IOU | 17～24 | 09～12 (49～52) | 09～12 | 05～06 | 03 | | |
| | IF8 | IOU | 25～32 | 13～16 (53～56) | 13～16 | 07～08 | 04 | | |

# 3. システム仕様

## ◆ NCU(回線)

| No | 項 目 | 最大容量 | 記 事 |
|---|---|---|---|
| 1 | 適用回線 | 1 | 一般加入回線またはPBX内線<br>(PBX24V系の場合は、NCUユニットの設定が必要)　注1 |
| 2 | ダイヤル方式 | 3 | DP(10PPS)／DP(20PPS)／DTMF(PB) |
| 3 | ダイヤル桁数 | 32 | 0～9、*、#、ポーズ、フラッシュ |
| 4 | フラッシュ時間 | 0.1～1秒 | |
| 5 | BT検出 | 有／無 | |
| 6 | DTMF信号(データ) | | |
| | 送出ゲイン | 0～14dB | 調整は工事担任者の資格を有するものに限ります。 |
| | 送出／休止時間 | 0.05～1秒 | |
| 7 | アンサ／エンド信号 | | |
| | 検出周波数 | 400～3KHZ | 設定値±10% |
| | 有効時間 | 0.1～10秒 | 有効時間幅は設定可 |
| 8 | 回線開放タイマ | 5～255秒 | 別宛先時有効 |

## ◆ 通報機能

| No | 項 目 | | 最大容量 | 記 事 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 通報機能 | | 11 | ①センサ(異常・復旧／パルス積算／時間積算)<br>②アナログ(異常・復旧(しきい値:5)／アナログ積算)<br>③AND条件 ④定時 ⑤定時状態 ⑥停電・復電 ⑦ローバッテリ<br>⑧蓄電池交換 ⑨タンパー ⑩モード切替 ⑪一括 |
| 2 | センサ／アナログ入力 | | 48 | 外部スイッチおよび外部停止ボタン使用時は、46入力 |
| | センサ入力数 | | 32 | 無電圧メーク／ブレーク接点 |
| | センサ／アナログ選択入力数 | | 16 | センサ入力:無電圧メーク／ブレーク接点 アナログ入力:電圧0～4.9725V<br>(アナログ入力時は、IOUユニットおよびシステムデータの設定が必要)　注2 |
| | 入力検知時間 | | 0.05秒～5分 | |
| 3 | その他入出力 | | | |
| | 出力接点数 | | 16 | メーク／ブレークを設定可能 |
| | 集音マイク接続数 | | 8 | |
| | 外部スピーカ接続数 | | 4 | |
| 4 | 通報先 | | | |
| | 通報先電話番号登録件数 | | 32 | 各通報先毎に以下を設定可能 |
| | 通報方式 | | 6 | 固定音声/録音音声/DTMF/DTMF+固定音声/DTMF+録音音声/ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ |
| | 応答検出方式 | 音声通報 | 5 | 極性反転／応答タイマ／課金パルス／DTMF信号／オーディオ信号 |
| | | DTMF通報 | 1 | アンサ信号 |
| | | ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ通報 | 3 | 極性反転／応答タイマ／課金パルス |
| | 通報グループ数 | | 32 | 各通報グループ毎に以下を設定可能 |
| | 通報モード数 | | 2 | 通報モード1／通報モード2 |
| | 通報宛先設定件数 | | 8 | 通報先電話番号登録32の中から、各通報モード(1／2)毎に設定可能 |
| | 自動発信回数 | | 255 | 各通報グループ毎に設定可能 |

注1. ユニットの設定方法は、本書7. 6(3)を参照願います。

注2. ユニットの設定方法は、本書7. 6(4)、システムデータの設定方法は「ICカード取扱説明書」を参照願います。

## ◆ ガイドホン機能

| No | 項 目 | 最大容量 | 記 事 |
|---|---|---|---|
| 1 | 接続機器 | | |
| | CD-5　屋内電話機接続数 | 2 | |
| | CD-5(N)　屋外電話機接続数 | 8 | |
| | ガイドホン表示器接続数 | 1 | |
| 2 | 通報先 | | |
| | 呼出モード数 | 3 | インターホン／Aグループ／Bグループ |
| | 通報先電話番号登録件数 | 3 | 各グループ(A／B)毎に設定可能 |
| | 応答検出方式 | 5 | 極性反転／応答タイマ／課金パルス／DTMF信号／オーディオ信号 |
| | IDの種類 | 5 | 固定音声／録音音声／DTMF／DTMF＋固定音声／DTMF＋録音音声 |

# 4. 外形寸法および重量

CS・D9 通報システムの外形寸法および重量は下表の通りです。
(ただし、オプションユニットの重量は含まれていません)

| 品 名 | 重量(Kg) | 外形寸法(mm) | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 幅 | 高さ | 奥行き |
| CS・D9 通報装置 | 約10 | 470 | 450 | 100 |
| CS・D9 増設装置 | 約5 | 470 | 340 | 100 |
| CS・D9 MDF BOX | 約4 | 470 | 340 | 100 |

# 5. システム定格

◆電源電圧・消費電力

| 動作電源電圧 | AC100V±10V(50Hz/60Hz)<br>AC200V±20V(50Hz/60Hz) 切替方式 |
|---|---|

| 消費電力 | オプションユニット実装枚数 | 消費電力 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 待機時 | | 動作時(最大) | |
| | | 100V | 200V | 100V | 200V |
| | IOU:1 | 6. 5W | 10. 0W | 8. 0W | 11. 5W |
| | IOU:4 | 7. 5W | 11. 0W | 9. 5W | 13. 0W |
| | GPU:1 SGPU:1 | 11. 0W | 14. 5W | 23. 5W | 27. 0W |
| | IOU:4 GPU:1 SGPU:1 | 12. 0W | 15. 5W | 25. 0W | 28. 5W |

◆局線線路抵抗

| 局交換機品名 | 規 格 |
|---|---|
| A形およびH形 | ループ抵抗:1, 000Ω以下 |
| C1形およびC2形 | ループ抵抗:1, 200Ω以下 |
| クロスバ形(C1形およびC2形を除く)および D形(電子交換機) | ループ抵抗:1, 700Ω以下 |

◆大地アース

| 大地アース種別 | 規 格 |
|---|---|
| | 第3種設置工事(設置抵抗100Ω以下) |

◆停電動作

| 停電動作 | 充電時間 |
|---|---|
| 10時間待機後3宛先へ通報可能<br>(ただし、IOU4枚実装で外部出力電源を使用しない場合) | 48時間以上 |

注1. 工場出荷時には、完全充電を行っていませんので、設置時予め充電してください。
注2. 蓄電池の寿命は約2年です。停電の有無に関わらず必ず2年毎に交換してください。
注3. 外部出力電源(IOU1枚当たりMAX:200mA)を使用した場合、約2時間となります。

◆使用温度・使用湿度範囲

| 使用温度範囲 | 使用湿度範囲 |
|---|---|
| −5~40℃ | 90%以下 |

◆認定番号および色(外観)

| 認定番号 | 色 |
|---|---|
| S95−3007−0 | マンセル 5Y 8/1 |

◆工事用品

| 配線ケーブル | |
|---|---|
| 電話用屋内配線 | 0. 5Φ以上 |
| アース線 | 1. 6Φ1V等<br>2X1. 2Φ1V等 |
| 周辺機器(センサ等)配線 | 0. 5Φ以上 |

注1. 0. 4Φの線は、使用しないで下さい。

# 6. 接続(周辺)機器の規格

CS・D9 通報システムに接続できる接続(周辺)機器の規格は下表の通りです。

◆通報関係

| ユニット名 | 接続(周辺)機器 | | 指定品 | NTKコード | 規 格 |
|---|---|---|---|---|---|
| NCU | 外付電話装置 | | — | — | 技術基準適合認定品 |
| MCU | 外部装置用出力電源(DC12V) | | — | — | トータル消費電流:200mA以下 |
| IOMDU | センサ入力 | 熱線センサ、防犯センサおよびその他のセンサ | — | — | 無電圧メーク/ブレーク接点方式<br>各系統共ループ抵抗:200Ω以下 |
| | | モード切替用外付スイッチ(タイマ) | | | 無電圧方式スイッチ<br>ループ抵抗:200Ω以下 |
| | | 外部停止ボタン | | | 無電圧方式ノンロック押しボタンスイッチ<br>ループ抵抗:200Ω以下 |
| | アナログ入力 | | — | — | 入力インピーダンス:100KΩ<br>入力電圧:DC0~4.9725V<br>各系統共ループ抵抗:200Ω以下 |
| | 集音マイク(SU630、SU730) | | ○ | 8916 | アツミ電気製<br>各系統共ループ抵抗:200Ω以下 |
| | 外部スピーカ(3Wアンプボックス) | | ○ | 6736 | 内臓アンプおよびリモート端子付き<br>入力インピーダンス:600Ω(100mV~300mV)<br>であれば、他製品でも可 |
| | 接点出力に接続される装置 | | — | — | 定格電圧:AC120V, DC60V<br>定格電流:1A<br>各系統共ループ抵抗:200Ω以下 |
| | 外部出力電源(DC12V)を使用する装置 | | — | — | IOUセット 1セット(最大4端子)あたり<br>トータル消費電流:200mA以下 |

◆ガイドホン関係

| ユニット名 | 接続(周辺)機器 | 指定品 | NTKコード | 規 格 |
|---|---|---|---|---|
| GPMDU | CD−5屋内電話機 | ○ | 82DR | 各系統共ループ抵抗:40Ω以下 |
| SGPMDU | CD−5N屋外電話機 | ○ | 82DY | 各系統共ループ抵抗:40Ω以下 |
| | ガイドホン表示器 | ○ | Y356 | ループ抵抗:40Ω以下 |
| | 屋外電話機個別呼出スイッチ | — | — | 無電圧方式ノンロック押しボタンスイッチ<br>ループ抵抗:200Ω以下 |

◆保守関係およびその他

| 接続個所 | 接続(周辺)機器 | 指定品 | NTKコード | 規 格 |
|---|---|---|---|---|
| MCU | プリンタ | — | — | コネクタ :セントロ36P<br>制御コード :PC−PR系<br>接続ケーブル:専用プリンタケーブル(別売) |
| 内カバー | シリアル1に接続する装置 | — | — | 保守用FDセット(別売)が動作可能なパソコン<br>接続ケーブル:保守用FDセット添付品 |
| 内カバー | 外部入力に接続する装置 | — | — | 接続ジャック:3.5Φミニピンジャック(モノラル) |

# 7. 設置工事

## 7.0 設置工事フローチャート

| 工程 | 参照 |
|---|---|
| 設置開始 | |
| 手配品の確認 | 7.1項　参照 |
| 工事依頼書の確認 | 7.2項　参照 |
| 設置場所の確認 | 7.3項　参照 |
| 本システムの取付 | 7.4項　参照 |
| ICカードの装着 | 7.5項　参照 |
| 各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明 | 7.6項　参照 |
| オプションユニットの実装 | 7.7項　参照 |
| オプションユニットの取付 | 7.8項　参照 |
| 配線工事 | 7.9項　参照 |
| 電源投入後の確認 | 7.10項　参照 |
| 設置工事終了 | |

## 7.1　手配品の確認

(1)本装置および周辺機器の手配漏れが無いか確認して下さい。

(2)工事の手配漏れが無いか確認して下さい。

## 7.2　工事依頼書の確認

本工事の依頼を受けた時点で、その工事内容を把握し前項のシステム構成より必要なオプションユニットおよび周辺機器等の注意事項を確認しを作成する。

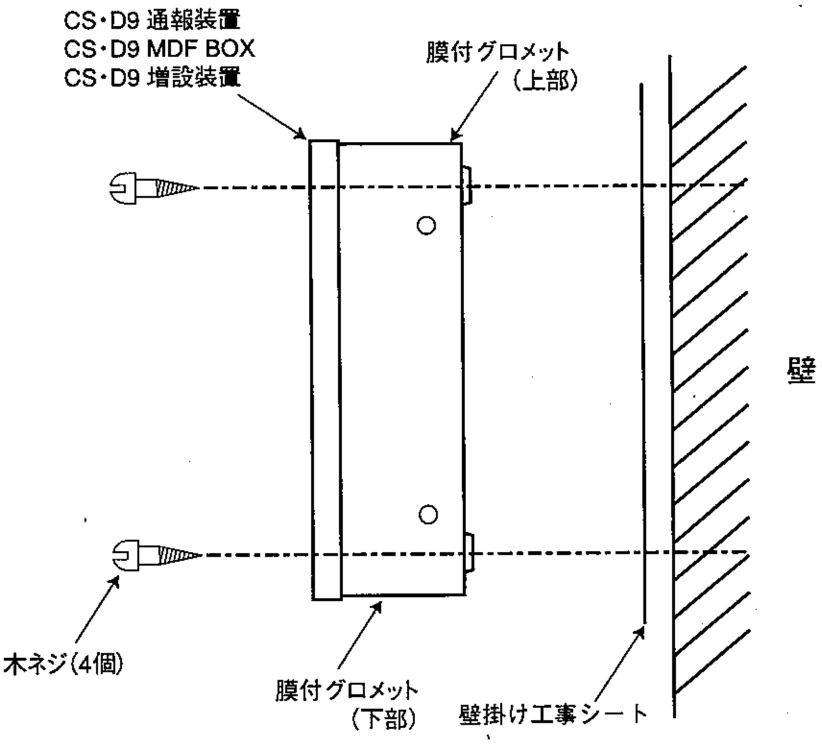
## 7.3　設置場所の確認　⚠警告

| 項　目 | 設置条件 | 注意事項 |
|---|---|---|
| 設置環境 | ・温度：−5～40℃<br>・湿度：90%以下 | ・急激な温度、湿度の変化がないこと。 |
| 設置場所 | ・直射日光、暖房器具などで高温、多湿にならない場所<br>・著しく温度の低下しない場所<br>・振動・衝撃、ゴミ・ホコリが少ない場所<br>・冠水、薬品類（ガソリン・ベンジン・シンナー等）のかかる恐れのない場所<br>・溶接機、高周波ミシンなど電気的ノイズを発生する物やラジオ、テレビなど高周波信号を扱っている機器が近くにない場所<br>・通行、物の出し入れがあり、保守点検作業に支障がない場所 | |
| 電源設備 | ・AC100V±10V（50Hz/60Hz）または、AC200V±20V（50Hz/60Hz）<br>・24時間電源が供給されていること。 | ・電源コンセントが近くにある場所 |
| 通信設備ケーブル | ・通信用第3種アースがとれる場所 | |

## 7.4　本システムの取付

### （1）CS・D9通報装置、CS・D9 MDF BOX、CS・D9増設装置の取付

CS·D9通報装置、CS·D9 MDF BOX、CS·D9増設装置の取付の際、下記の如く壁面に設置して下さい。設置の際は各装置に添付されている壁掛け工事シートおよび木ネジを利用して下さい。




①壁掛け工事シートを壁面に貼付け、取付位置を決めた上、添付品の木ネジを壁面取付寸法の位置に締め付け固定する。
②木ネジ(4個)固定後、壁掛け工事シートを必ず取除いて下さい。
③本体装置のふたを開き、①項で固定したネジに本体装置を引っかけて下さい。
④引っかけた本体装置がガタがないよう壁面取付用木ネジにて締付け固定して下さい。

**⚠注意**　○CS·D9増設装置を設置した場合は、その取扱説明書に従い、接続ケーブル(MCU-SMCU接続用(60P))を確実に接続して下さい。
○CS·D9 MDF BOXを設置した場合は、その取扱説明書に従い、タンパースイッチを確実に接続して下さい。

## (2) ガイドホン表示器

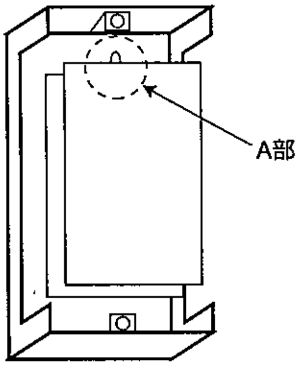
①表示器前面のネジ2箇所をはずし、前面カバーをはずします。

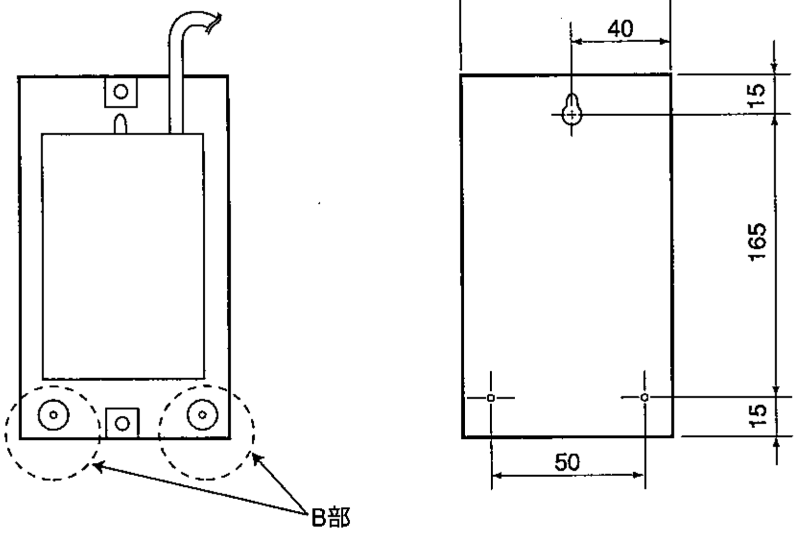
②A部の取付穴の位置をマークします。

③マーキングした位置にネジ頭が下から5cm位出る所までネジ込みます。

④本体をネジに引っかけ固定して下さい。

⑤B部をネジで2箇所固定して下さい。



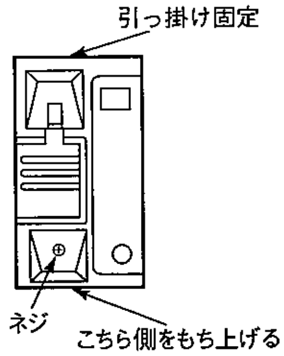



### (3) CD-5（N）屋外電話機、CD-5屋内電話機

①電話機ハウジングの外し方

(イ)送話口部のネジを外します。

(ロ)電話機の後側がひっかけ固定されていますので手前をもち上げるようにすると外れます。

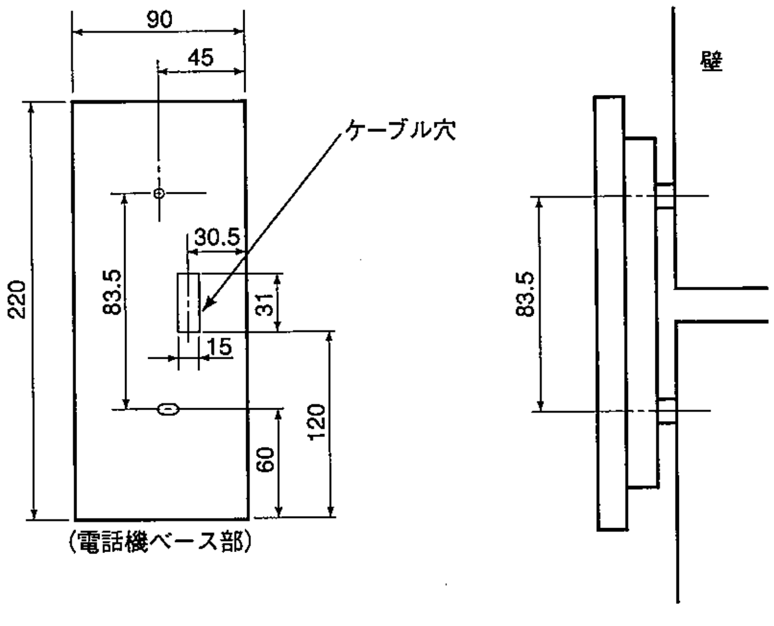



②電話機の壁掛取付方法

(イ)電話機の下ケースを添付の木ネジで壁に取付けます。

(ロ)結線が修了したら、上ケースをかぶせ元通りにネジ止めして下さい。

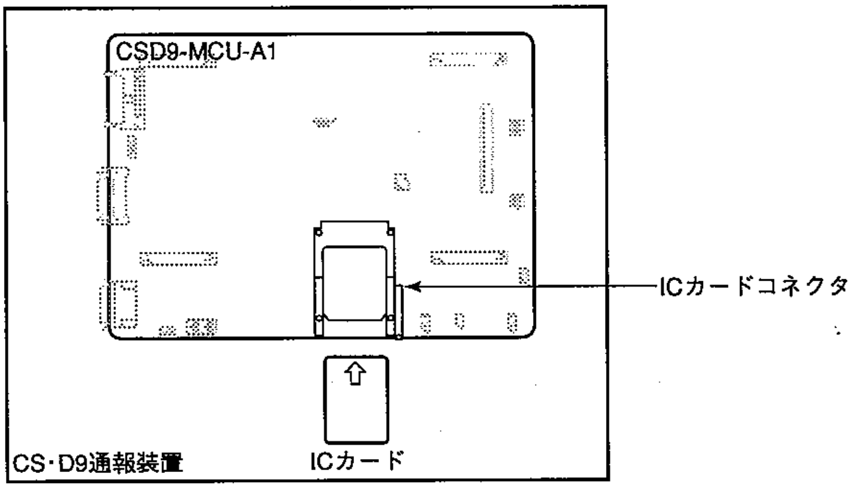
※:穴位置は配管用プレート取付金具(JISボックス)に合わせてあります。



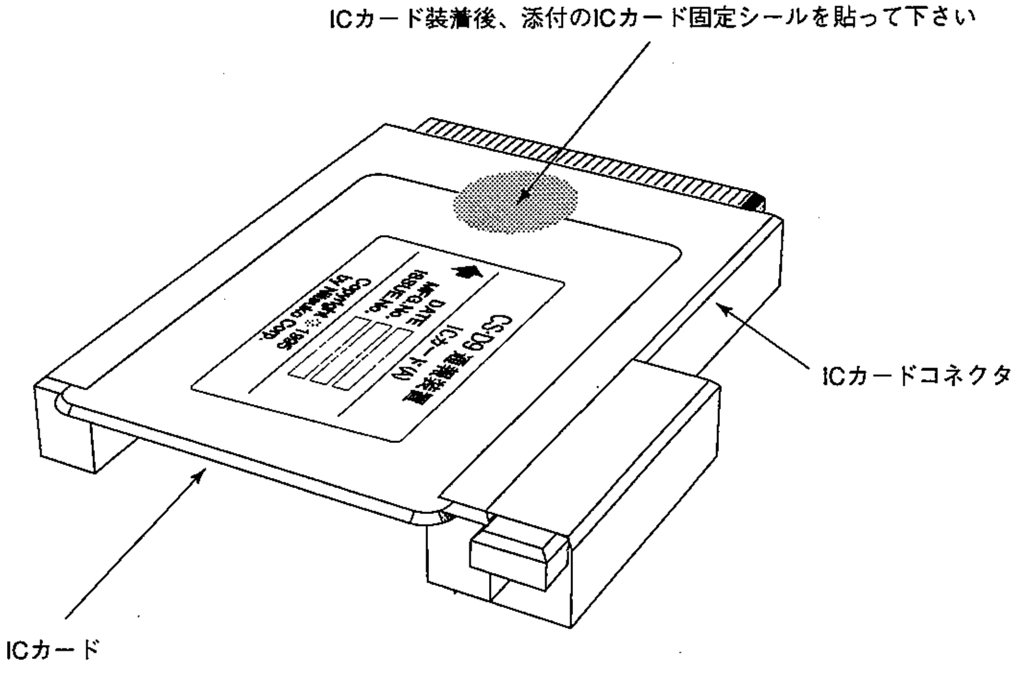
# 7.5　ICカードの装着

ICカードは下図の様に、CS・D9通報装置内部のICカードコネクタに確実に差し込んで下さい。
尚、装着は必ず電源を切った状態で実施して下さい。

## (1) 装着箇所

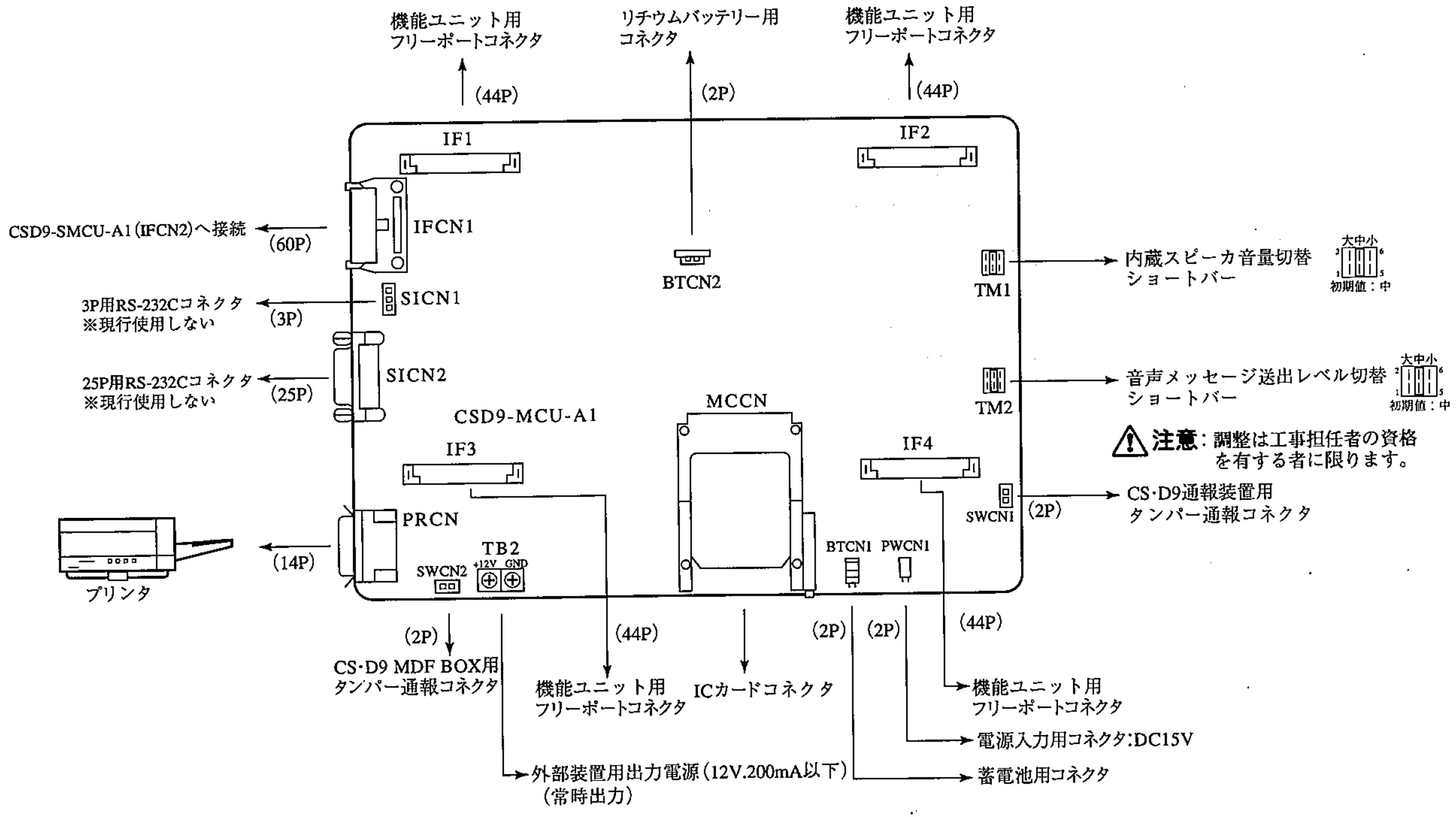



## (2) 装着方法

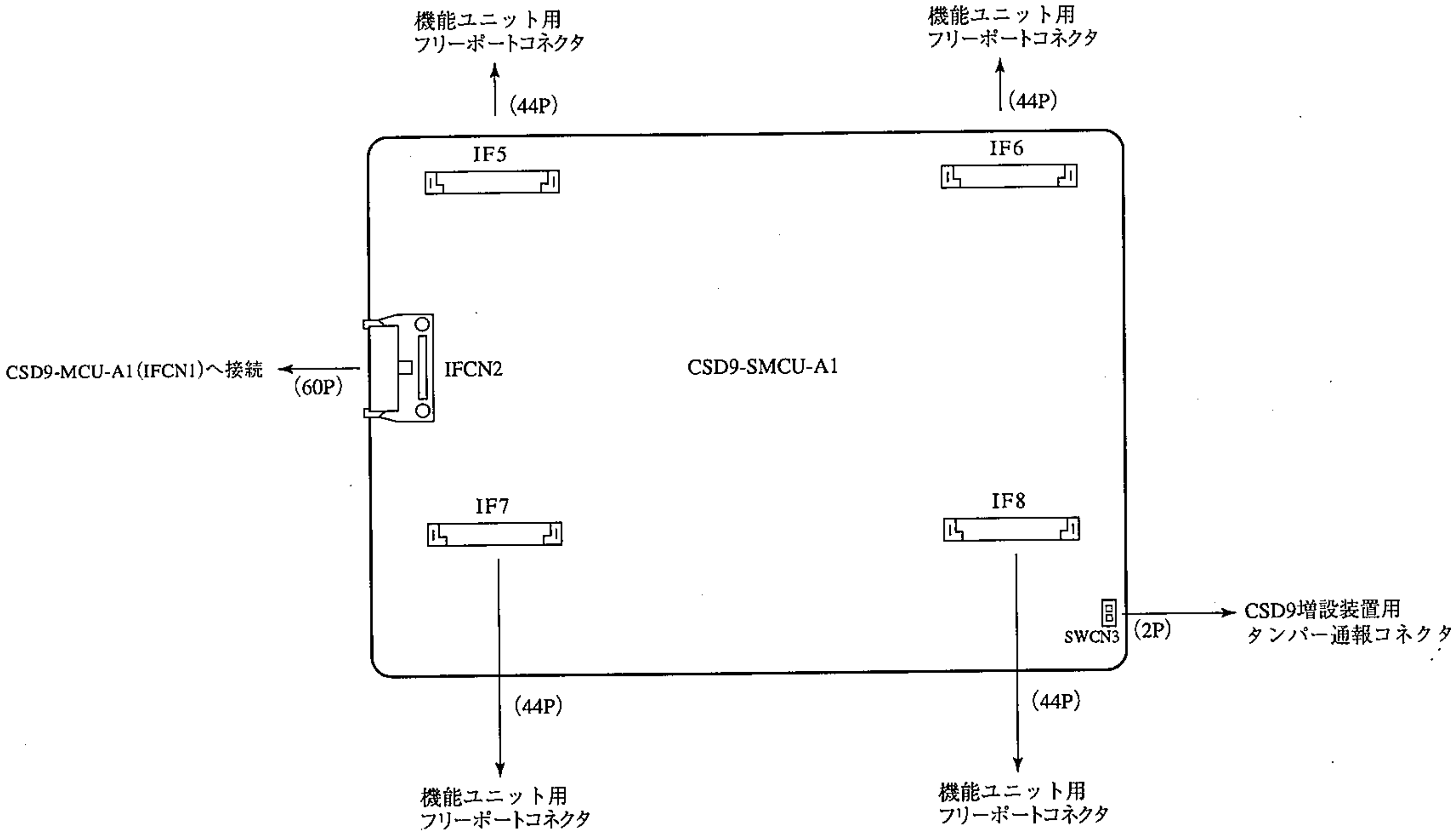


## 7.6 各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明

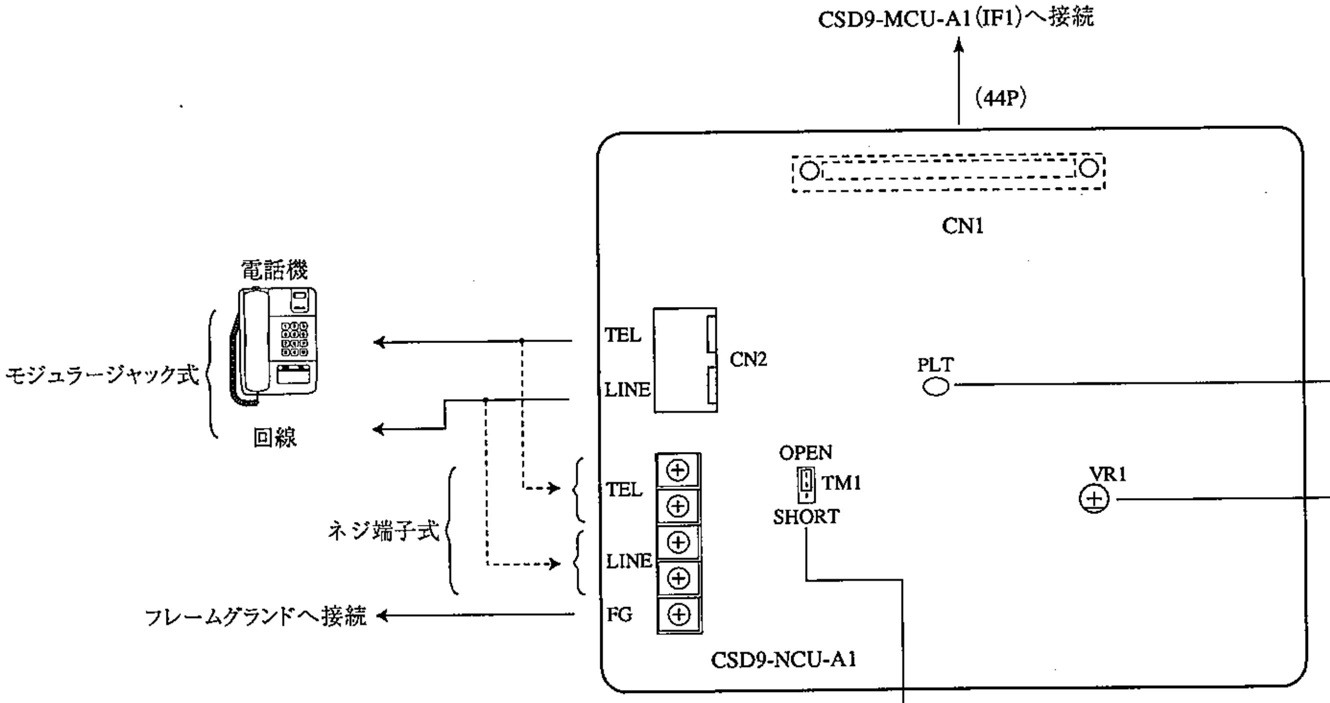
### (1) CSD9-MCU-A1



## (2) CSD9-SMCU-A1



## (3) CSD9-NCU-A1




動作確認用ランプ

| | |
|---|---|
| 活性化中 | 早い点滅(約15秒) |
| 活性化後 | 遅い点滅 |

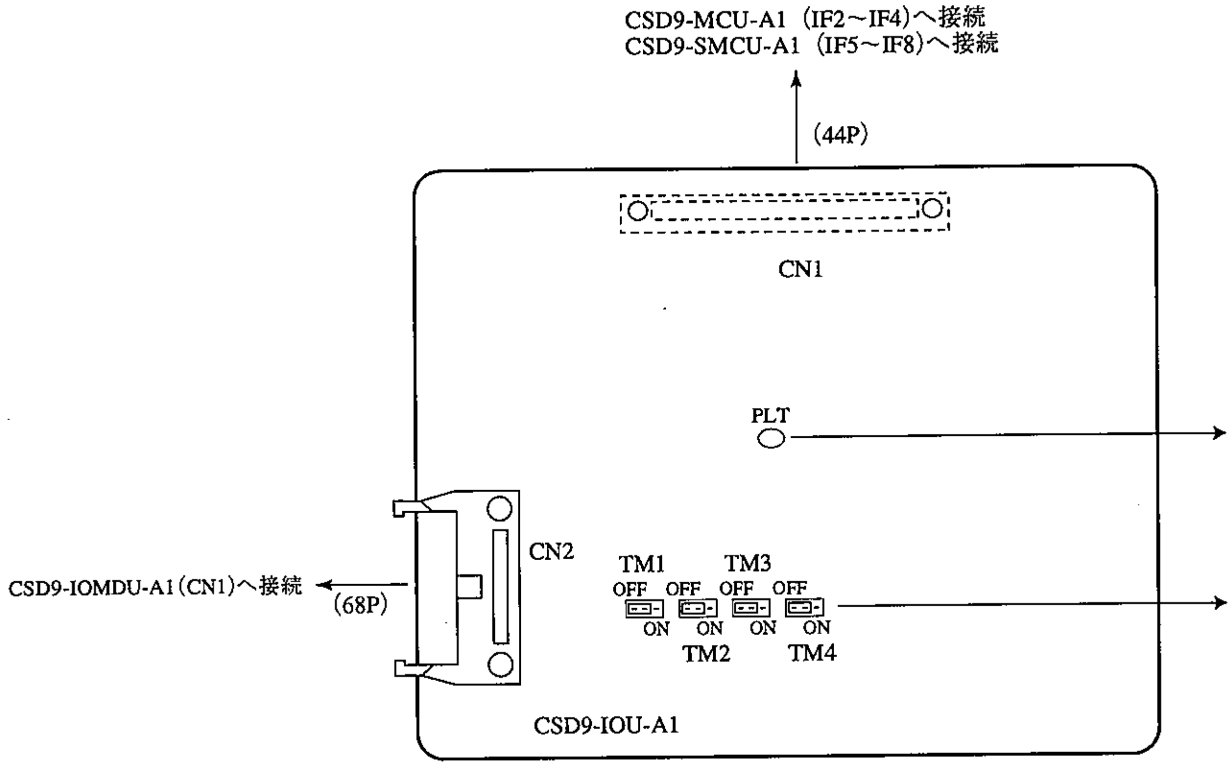
PB送出レベルボリューム:設定済にて調整しないこと
PB(DTMF)データの送出レベルは、システムデータで設定できます。
ICカード取扱説明書の「種別(13):DTMFデータ」を参照願います。

一般回線/PBX内線切替ショートバー

| | OPEN側 | SHORT側 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| TM1 | 一般回線(48V) | PBX内線(24V) | OPEN側 |

⚠ **注意**: TEL.LINEとも、それぞれモジュラー端子とネジ端子の併用はできません

## (4) CSD9-IOU-A1




動作確認用ランプ

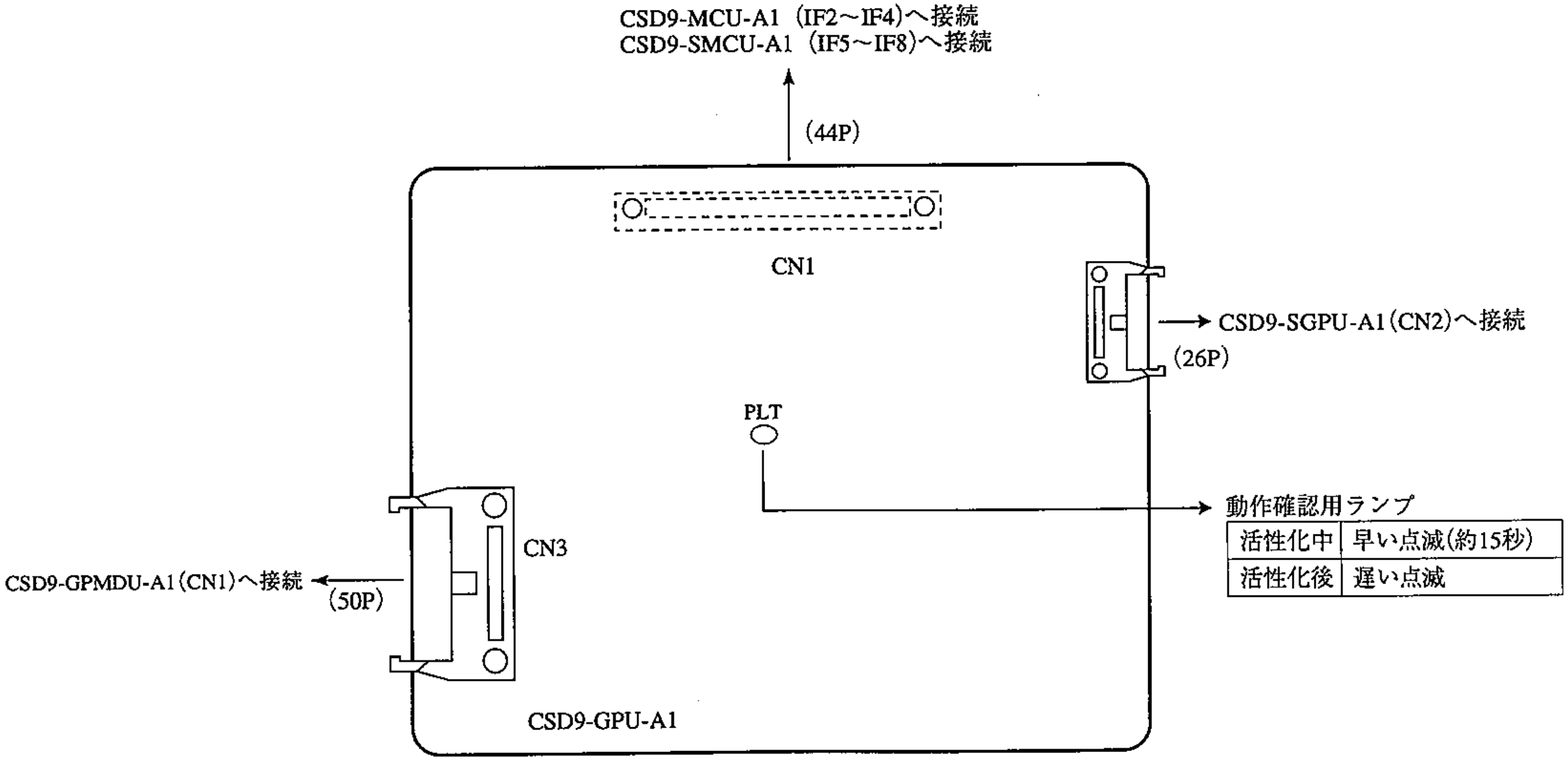
| | |
|---|---|
| 活性化中 | 早い点滅(約15秒) |
| 活性化後 | 遅い点滅 |

アナログ／センサ入力切替ショートバー

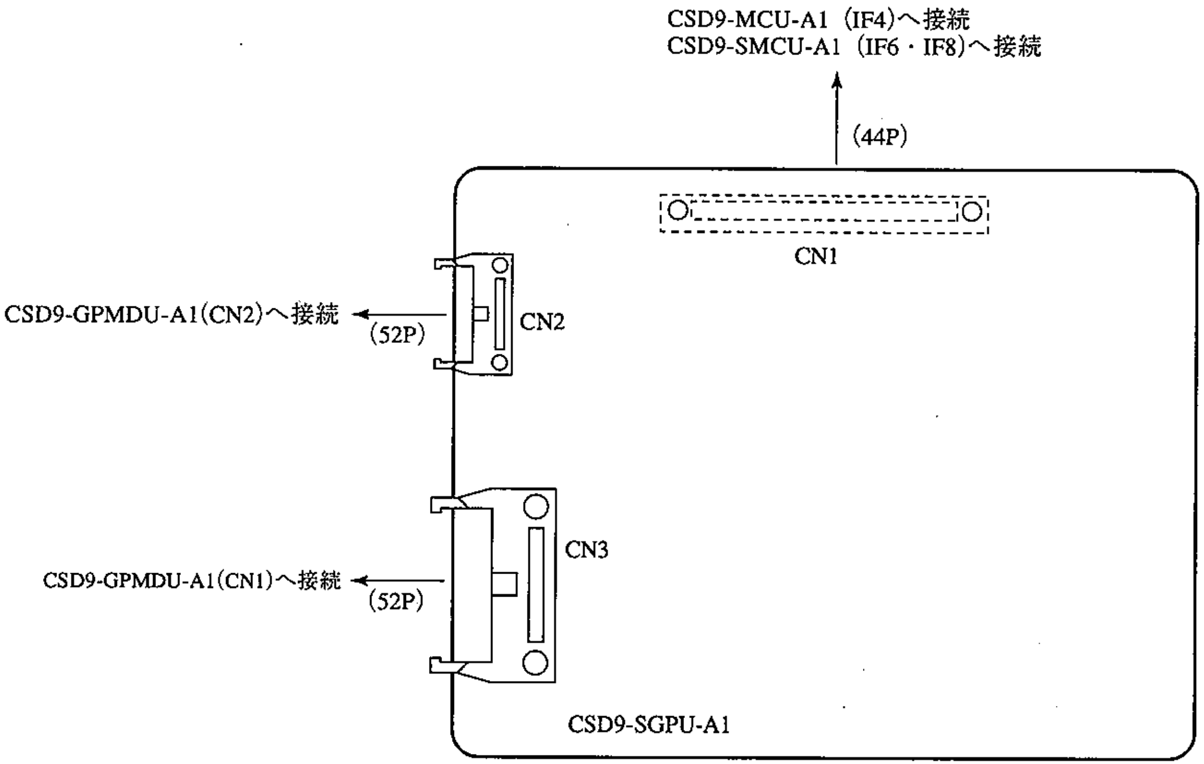
| | OFF側 | ON側 | 初期値 |
|---|---|---|---|
| TM1 | アナログ | センサ | ON側 |
| TM2 | アナログ | センサ | |
| TM3 | アナログ | センサ | |
| TM4 | アナログ | センサ | |

⚠ **注意**：アナログ入力(4点)として使用する場合は、この入力切替ショートバーの差し替えと、システムデータの設定変更が必要です。
ICカード取扱説明書の「種別(37)：アナログ入力」を参照願います。

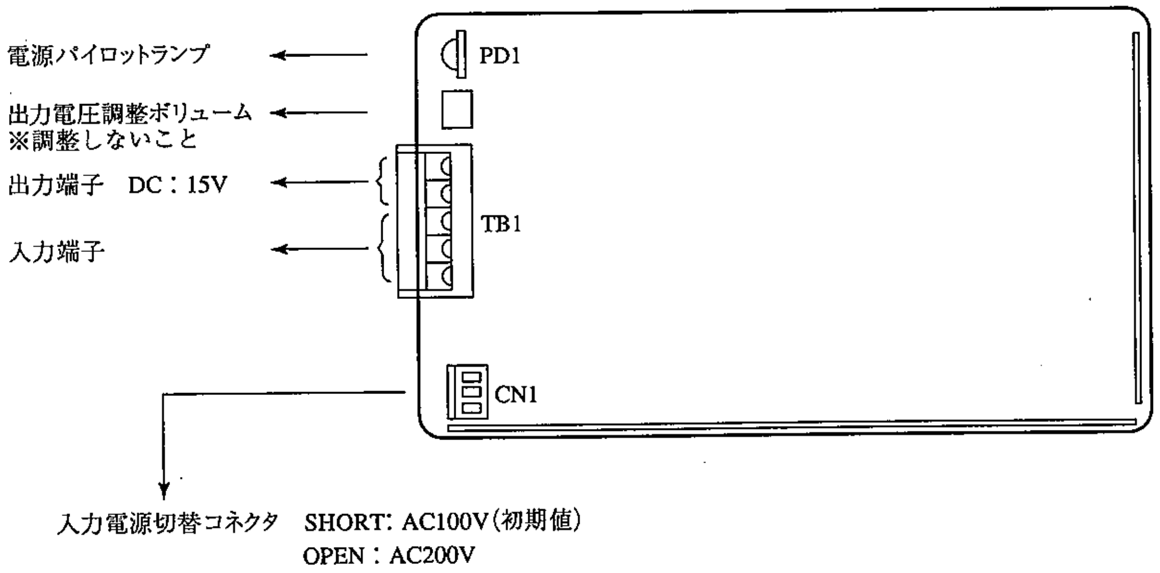
## (5) CSD9-GPU-A1


CSD9-MCU-A1 (IF2～IF4)へ接続
CSD9-SMCU-A1 (IF5～IF8)へ接続
(44P)
CN1
CSD9-SGPU-A1(CN2)へ接続
(26P)
PLT
動作確認用ランプ
活性化中 早い点滅(約15秒)
活性化後 遅い点滅
CN3
CSD9-GPMDU-A1(CN1)へ接続
(50P)
CSD9-GPU-A1

### (6) CSD9-SGPU-A1



### (7) 内蔵スイッチング電源



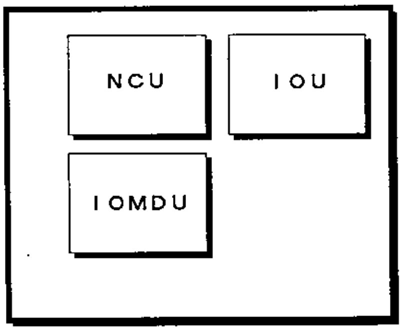

⚠ **警告**：ご使用の入力電源に合わせて、入力電源切替コネクタのショートピンを抜き差しして下さい。

## 7.7 オプションユニットの実装

オプションユニットの実装に関し、本装置はフリースロット方式(どのスロットにどのユニットを実装しても動作します)を採用していますが、配線等の引き回しを考慮した場合、下記の配置での実装を推奨します。

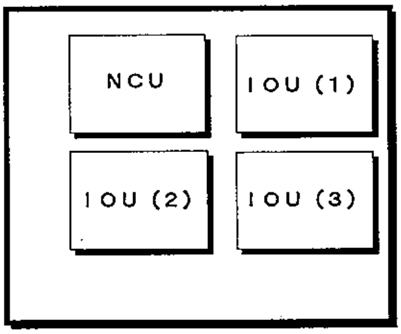
オプションユニットを実装する前に、CS・D9通報装置内MCUユニットの以下のコネクタや端子に必要なものが確実に接続されているか確認の上、実装してください。
・ICカードコネクタ(MCCN)にICカードが実装されていること
・外付けプリンタを使用する場合、プリンタコネクタ(PRCN)にプリンタケーブルが接続されていること
・増設装置を使用する場合、SMCU接続コネクタ(IFCN1)に接続ケーブルが接続されていること
・MDF BOXを使用する場合、MDF BOX用タンパー通報コネクタ(SWCN2)にタンパーケーブルが接続されていること
・外部装置用出力電源端子(TB2)を使用する場合、配線されていること

**(1)オプション数:1セット(例:IOU 1セット)**
オプションが1セットの場合は、以下のように実装して下さい。
機能ユニット　　　:通報装置(IF2またはIF4)
ネジ端子ユニット　:通報装置(IF3)

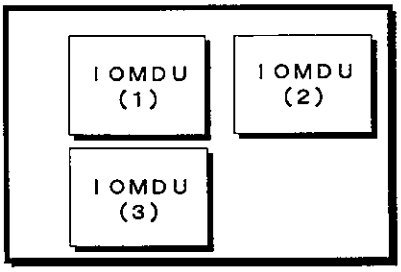



CS・D9 通報装置

**(2)オプション数:2~3セット(例:IOU 3セット)**
オプションが2~3セットの場合は、以下のように実装して下さい。
機能ユニット　　　:通報装置(IF2~IF4)
ネジ端子ユニット　:MDF BOX




CS・D9 通報装置



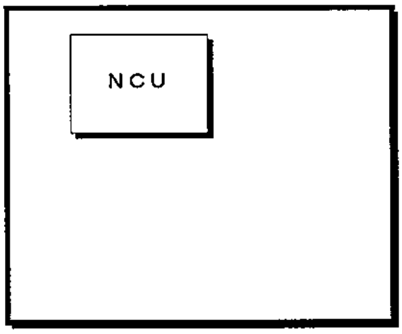

CS・D9 MDF BOX

(3)オプション数:4セット(例:IOU　4セット)

オプションが4セットの場合は、以下のように実装して下さい。

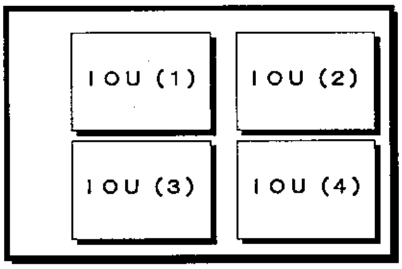
機能ユニット　　　:増設装置(IF5～IF8)

ネジ端子ユニット　:増設装置(MDU取付ボード)

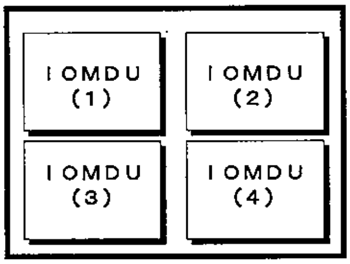



CS・D9　通報装置

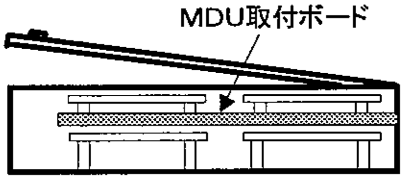
CS・D9　増設装置




MDU取付ボードセット




MDU取付ボード取付時の底面図



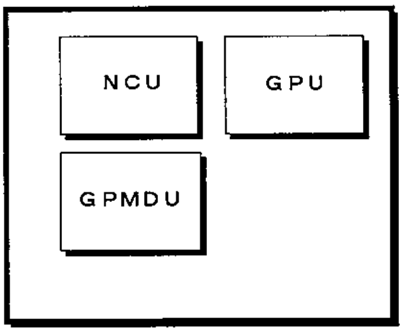

底面図

(4)オプション数:5セット(例:IOU　4セット、GPU　1セット)

オプションが5セットの場合は、以下のように実装して下さい。

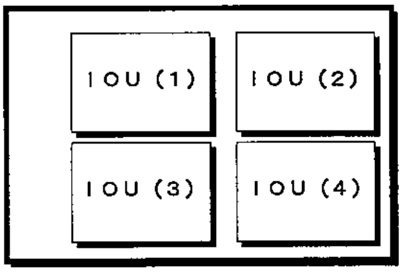
機能ユニット　　　:通報装置(IF2またはIF4)および増設装置(IF5～IF8)

ネジ端子ユニット　:通報装置(IF3)および増設装置(MDU取付ボード)

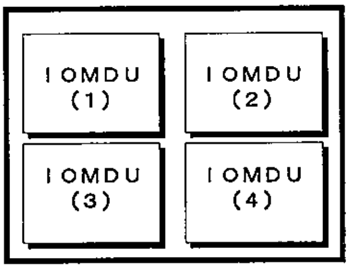



CS・D9　通報装置

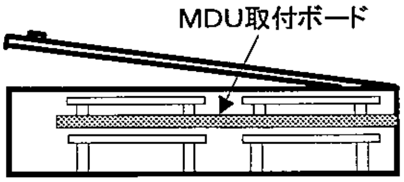
CS・D9　増設装置




MDU取付ボードセット




MDU取付ボード取付時の底面図




底面図

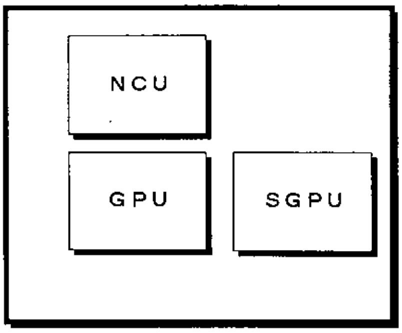
尚、上記の実装方法のほかCS・D9 MDF BOXを使用しネジ端子ユニットをすべてMDF BOXに実装することもできます。(ネジ端子ユニットを2段で実装、次ページの参考図を参照)
ただし、その場合GPUおよびSGPUの接続ケーブルの長さが足りなくなるため別途ロングケーブル(GPU用およびSGPU用)(別売)が必要となります。

(5)オプション数：6セット（例：IOU　4セット、GPU　1セット、SGPU　1セット）

オプションが6セットの場合は、以下のように実装して下さい。

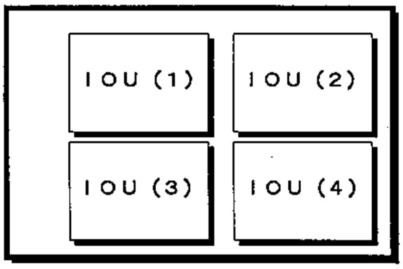
機能ユニット　　　：通報装置（IF3、IF4）および増設装置（IF5～IF8）

ネジ端子ユニット　：増設装置（MDU取付ボード）およびMDF BOX

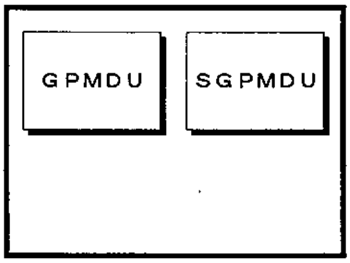



CS・D9　通報装置

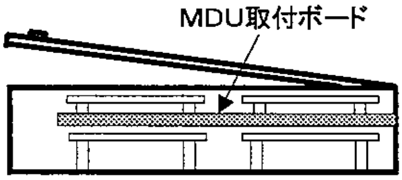
CS・D9　増設装置



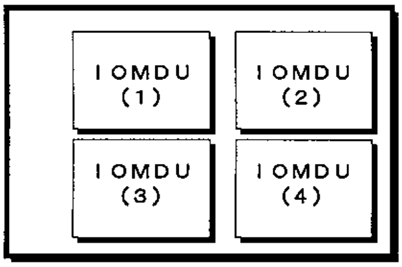

MDU取付ボードセット




MDU取付ボード取付時の底面図




底面図



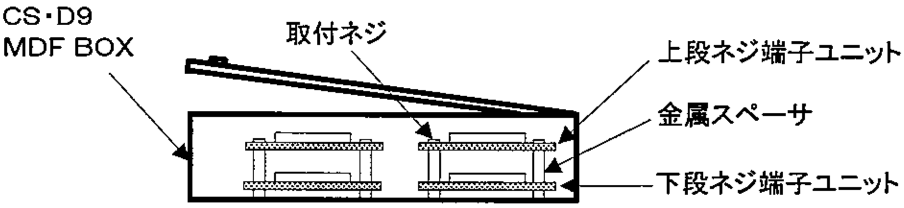

CS・D9　MDF BOX

尚、上記の実装方法のほかMDU取付ボードを使用せずネジ端子ユニットをすべてMDF BOXに実装することもできます。（ネジ端子ユニットを2段で実装、以下の参考図を参照）

ただし、その場合GPUおよびSGPUの接続ケーブルの長さが足りなくなるため別途ロングケーブル（GPU用およびSGPU用）（別売）が必要となります。

## 【参考図】　ネジ端子ユニットの2段実装

注意：ネジ端子ユニットの2段実装は、下段ネジ端子ユニットの配線工事を実施後、
上段ネジ端子ユニットを実装して下さい。

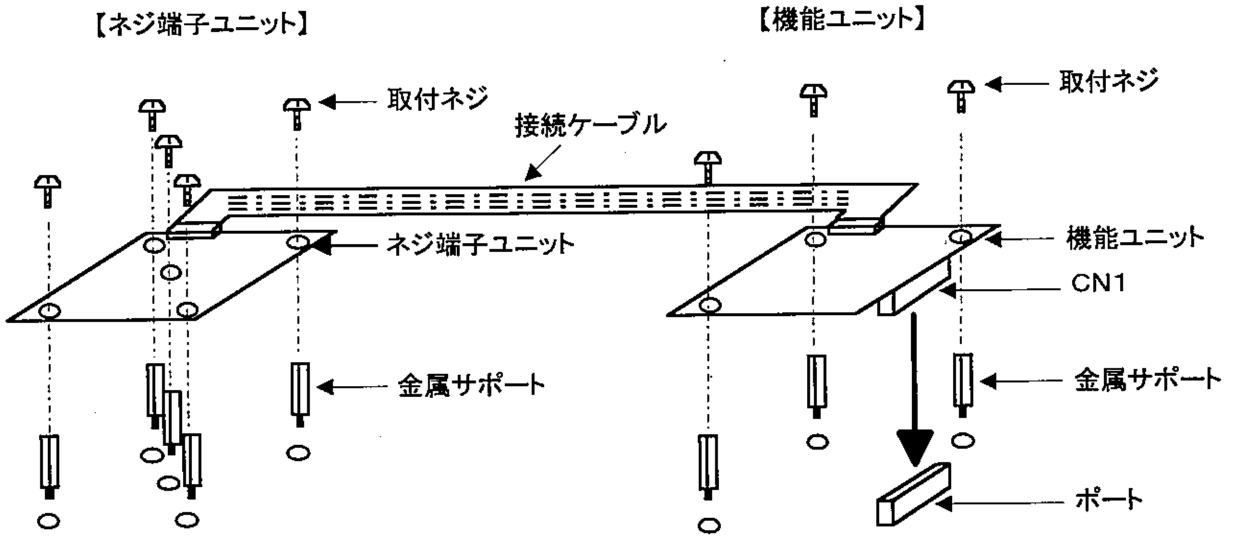



底面図

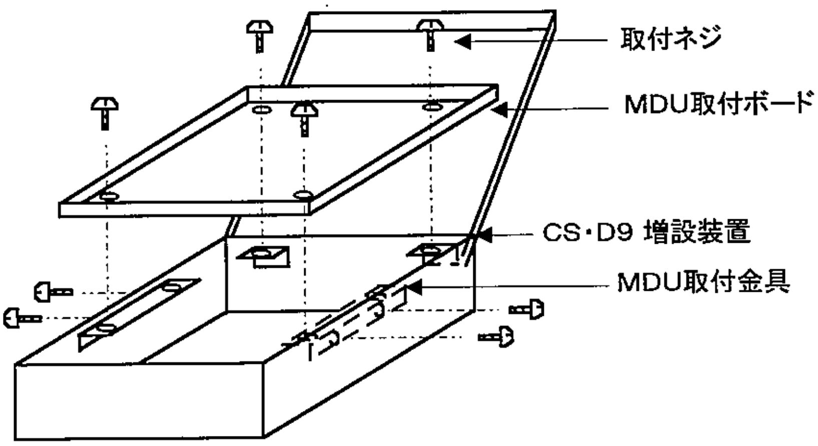
## 7.8 オプションユニットの取付

オプションユニットおよびCS・D9 MDU取付ボードセットの取付けは下図の通りです。
各オプションユニットの接続ケーブルについては、7．9項2)オプションユニット接続を参照願います。

(1) オプションユニットの取付
①機能ユニットを以下の手順で取り付ける
・取付けるポートに金属サポート(3本)を取り付ける
・機能ユニットのCN1をポートに確実に差し込む(実装)する
・取付ネジ(3本)で固定する
②ネジ端子ユニットを取り付ける
・取付個所に金属サポート(5本)を取り付ける
(MDU取付ボードに取り付ける場合、金属サポートは取り付けない)
(MDF BOXの下段に取り付ける場合、金属サポートは取り付けなくてもよい)
・取付ネジ(5本)で固定する
③機能ユニットと ネジ端子ユニットを接続ケーブルで接続する




(2) MDU取付ボードの取付
①MDU取付ボードを以下の手順で取り付ける
・CS・D9増設装置に取り付けてある機能ユニットの接続ケーブルが確実に接続されているか確認する
・MDU取付金具(2個)を取付ネジ(各2本)で取り付ける
・MDU取付ボードを取付ネジ(4本)で取り付ける

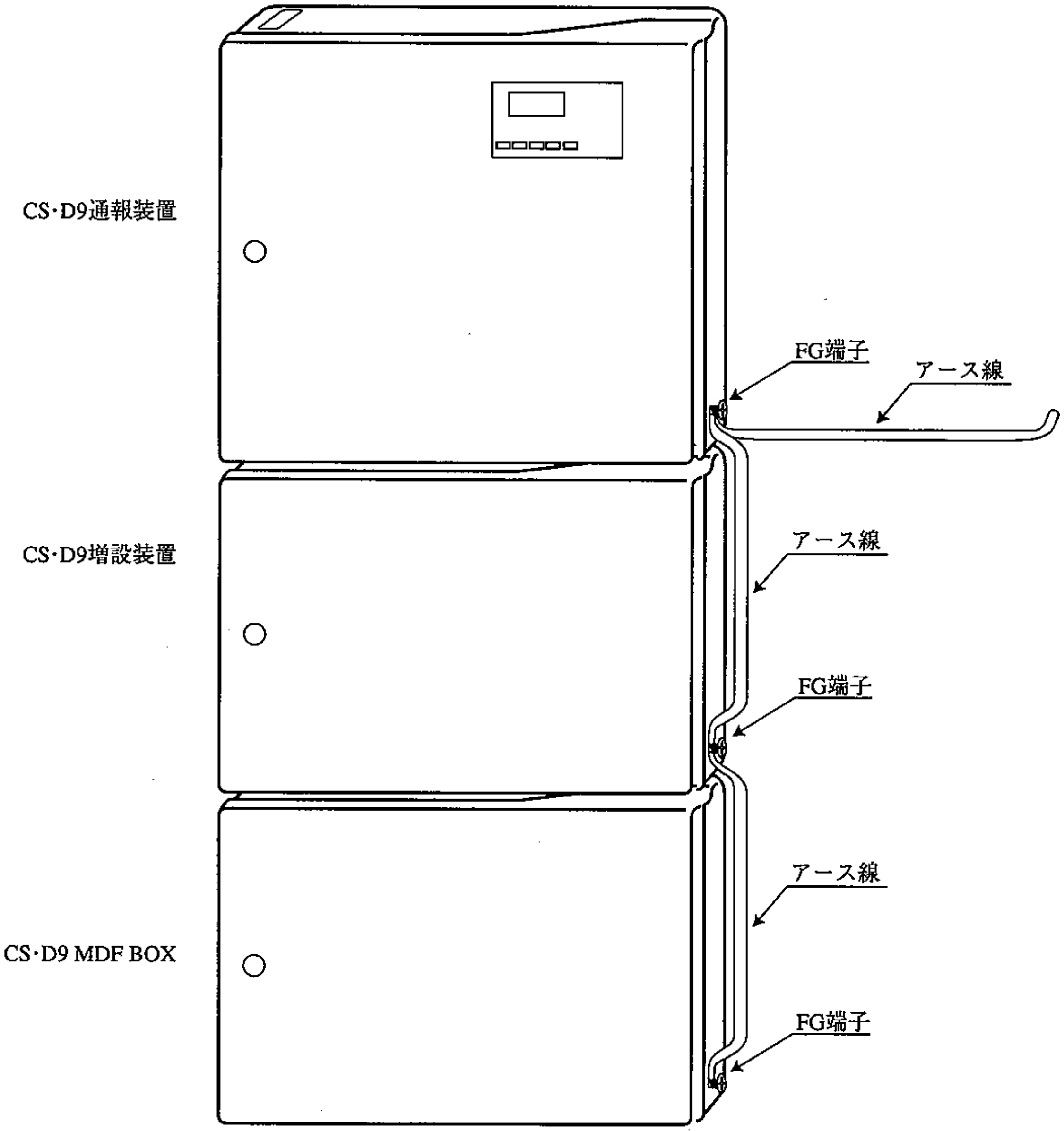


# 7.9　配線工事

## 1）アース線接続

CS･D9通報装置にあるFG端子に接続し、第3種接地工事(接地抵抗100Ω以下)を必ず実施して下さい。

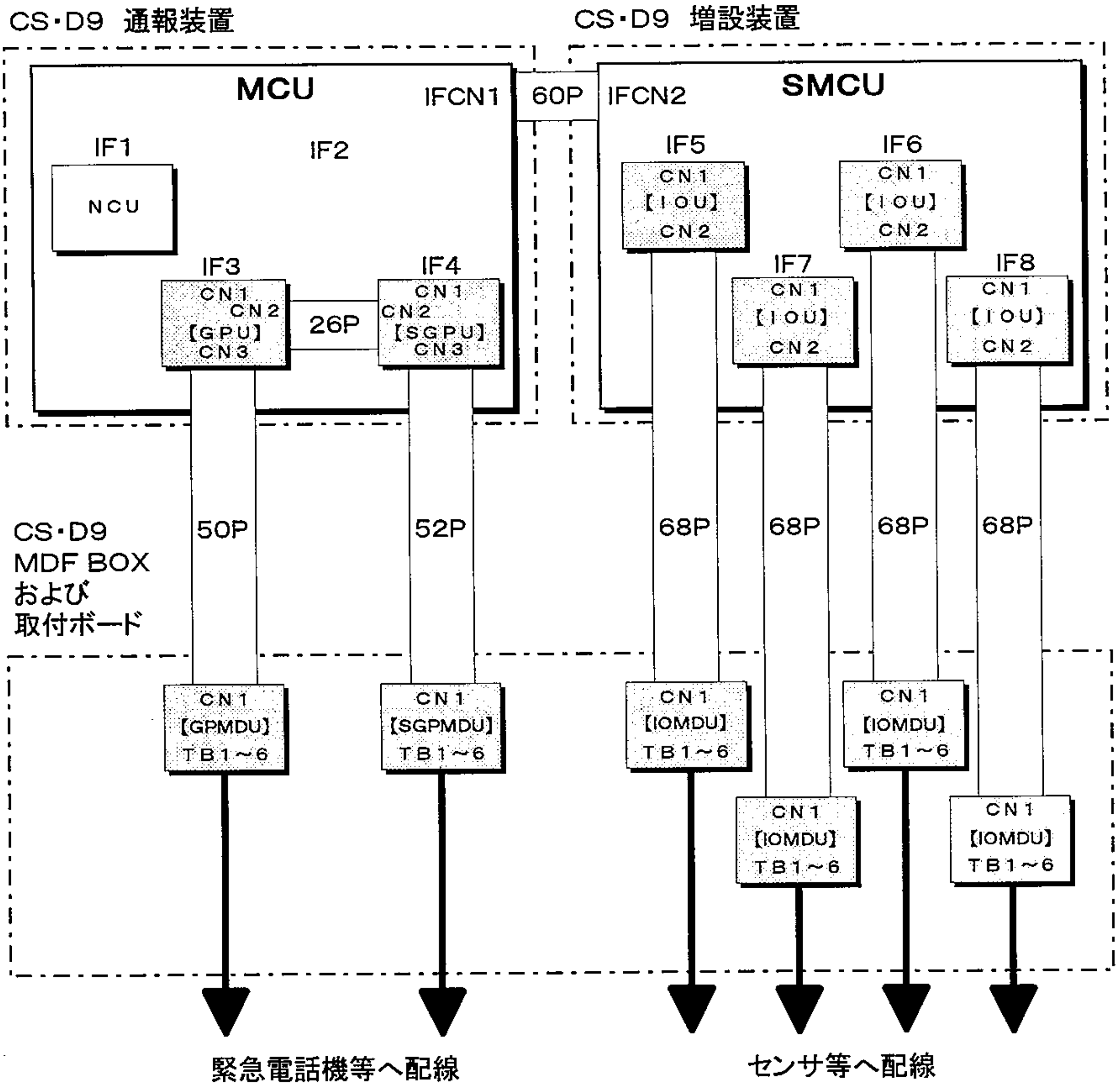
CS･D9増設装置、CS･D9 MDF BOXは、下図のように実施して下さい。



## 2)オプションユニット接続

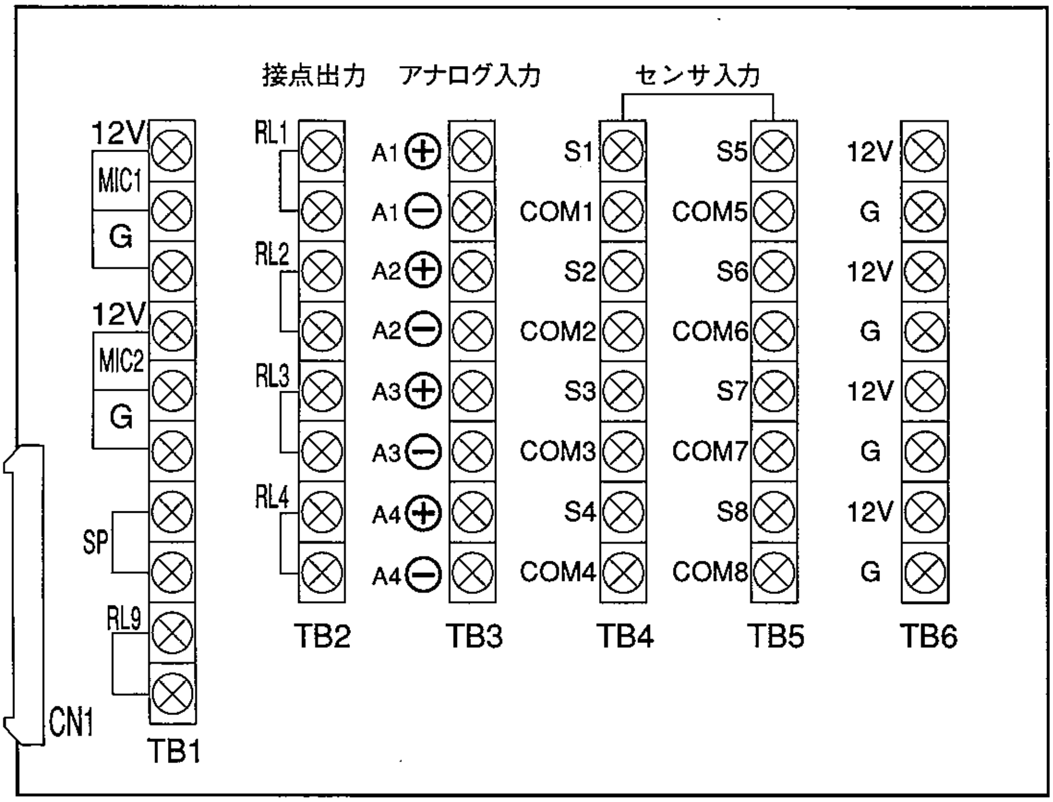
CS･D9 通報装置システムのオプションユニット接続ケーブルおよび通報装置と増設装置間の接続ケーブルの接続図は、下図の通りです。

システム構成例:IOU　4セット、GPU　1セット、SGPU　1セット

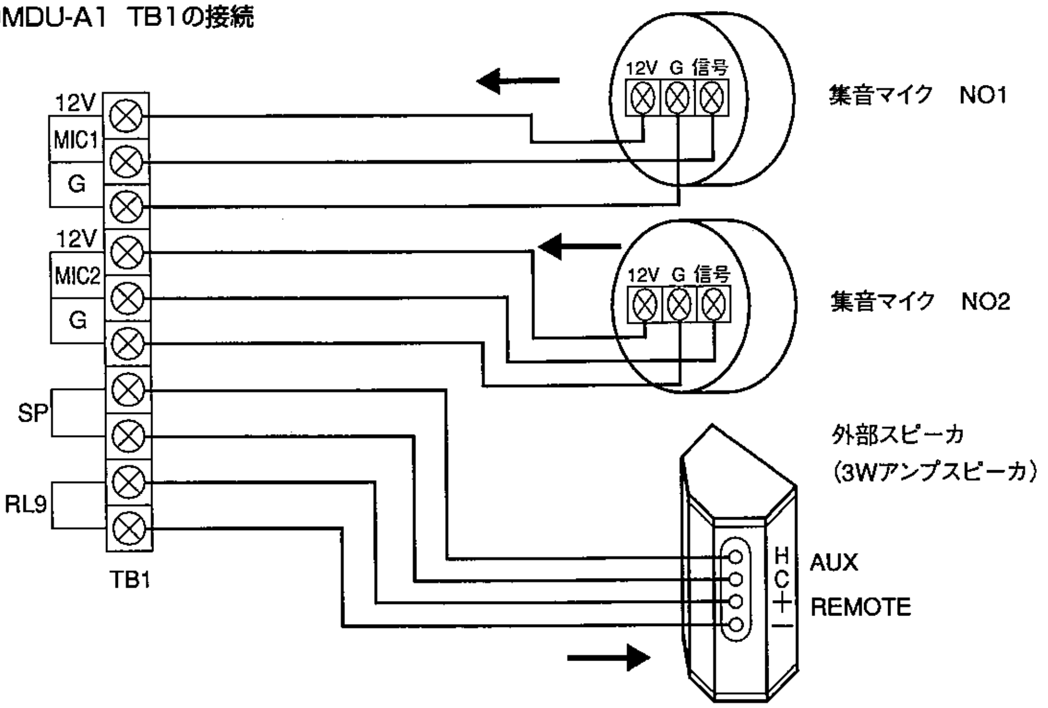


### 3）CSD9-IOMDU-A1（通報機能）接続

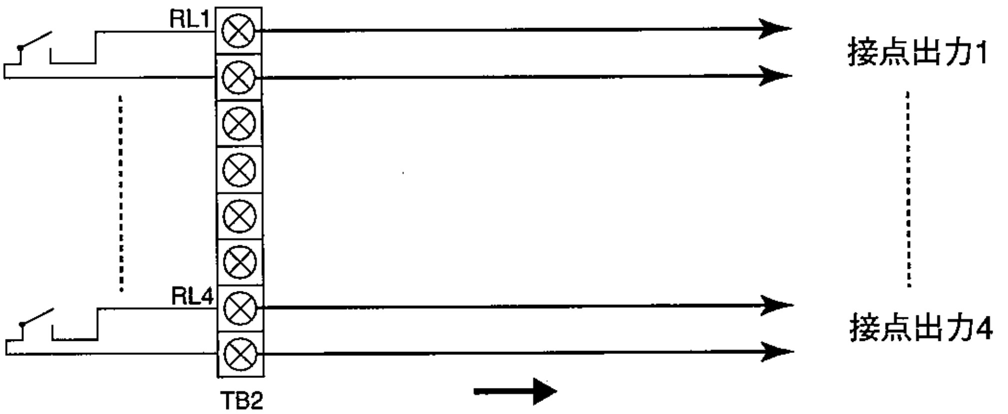
・CSD9-IOMDU-A1 外観図



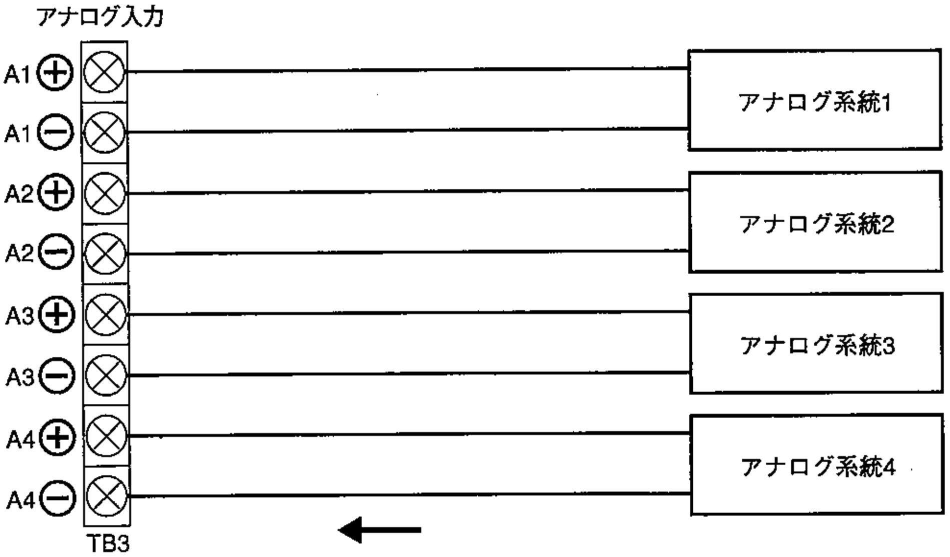
① CSD9-IOMDU-A1 TB1の接続



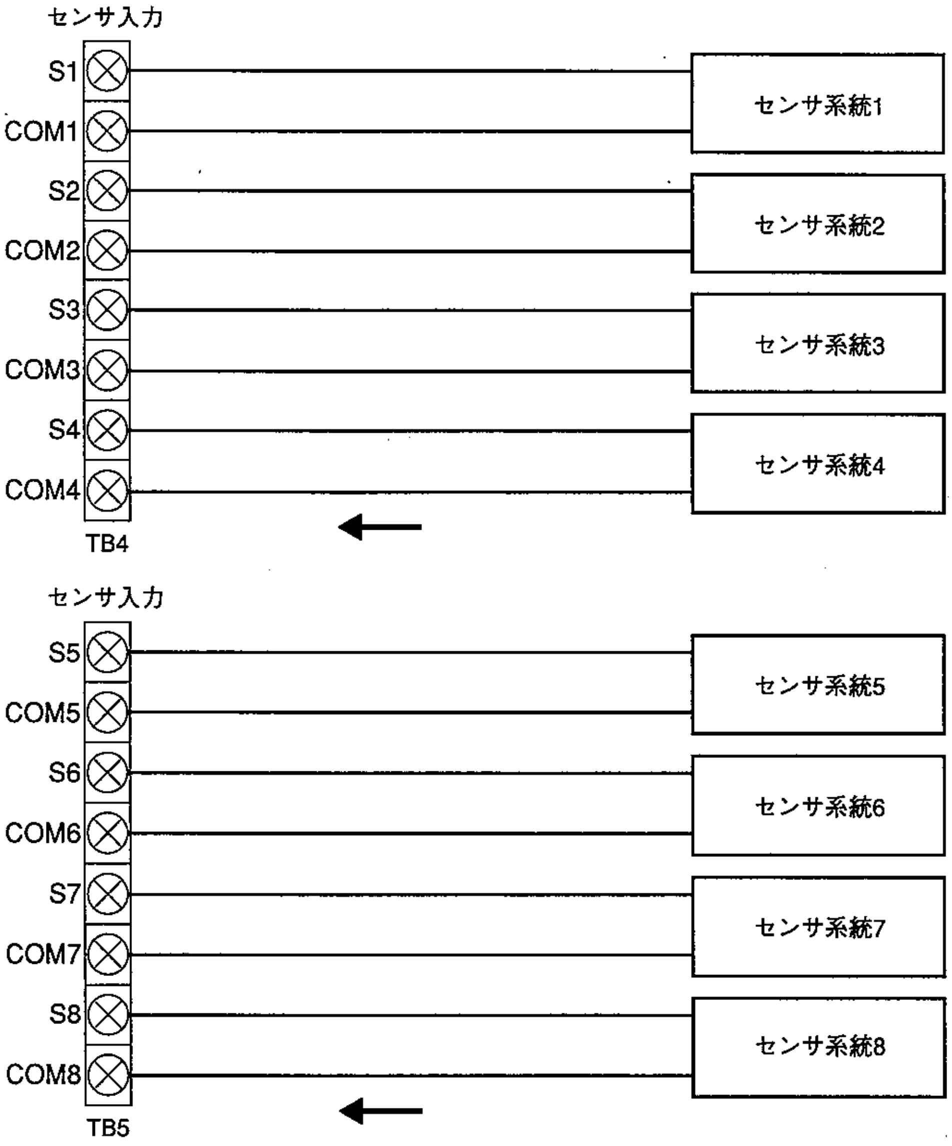

② CSD9-IOMDU-A1 TB2の接続



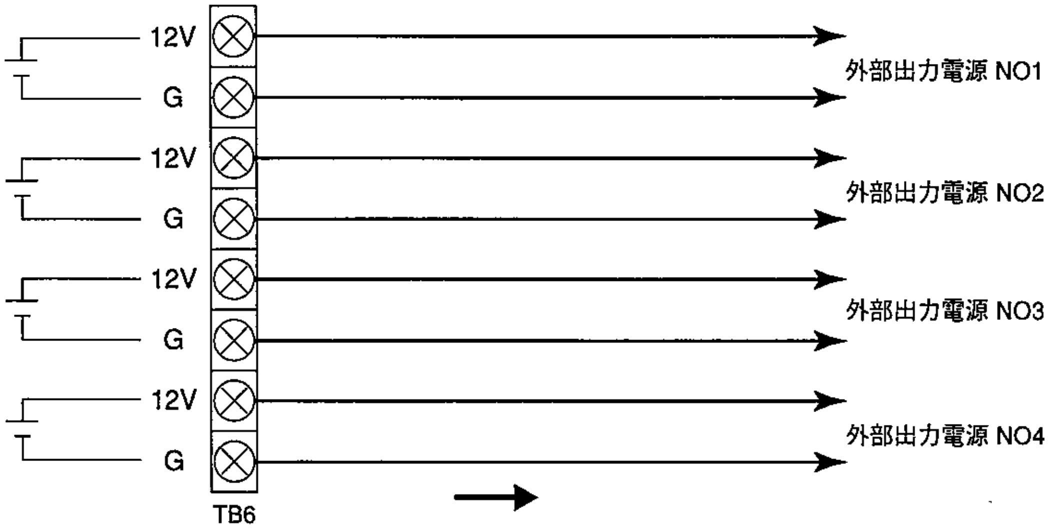

③ CSD9-IOMDU-A1 TB3の接続



④ CSD9-IOMDU-A1 TB4、5の接続

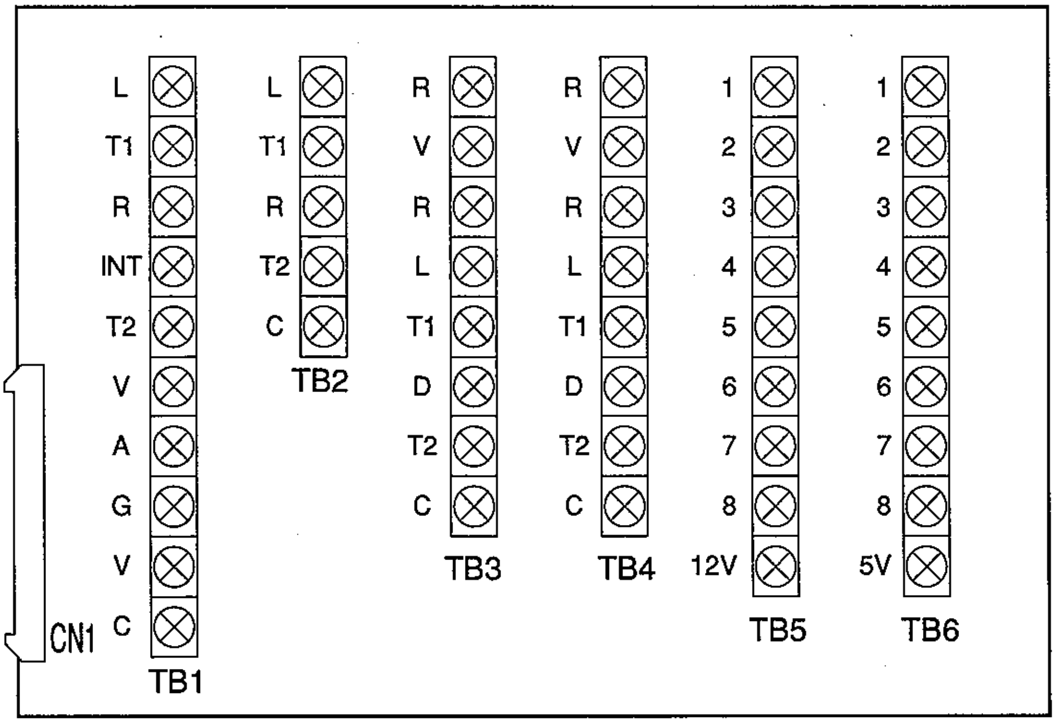



⑤ CSD9-IOMDU-A1 TB6の接続

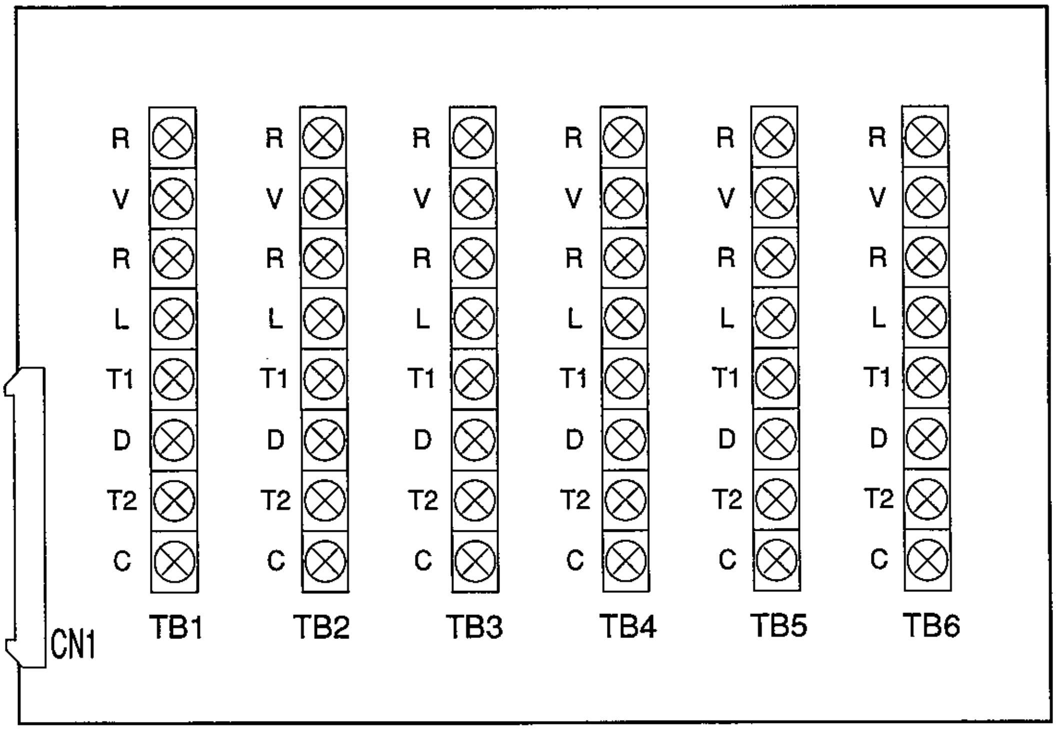


#### 4）CSD9-GPMDU/SGPMDU-A1（ガイドホン機能）接続

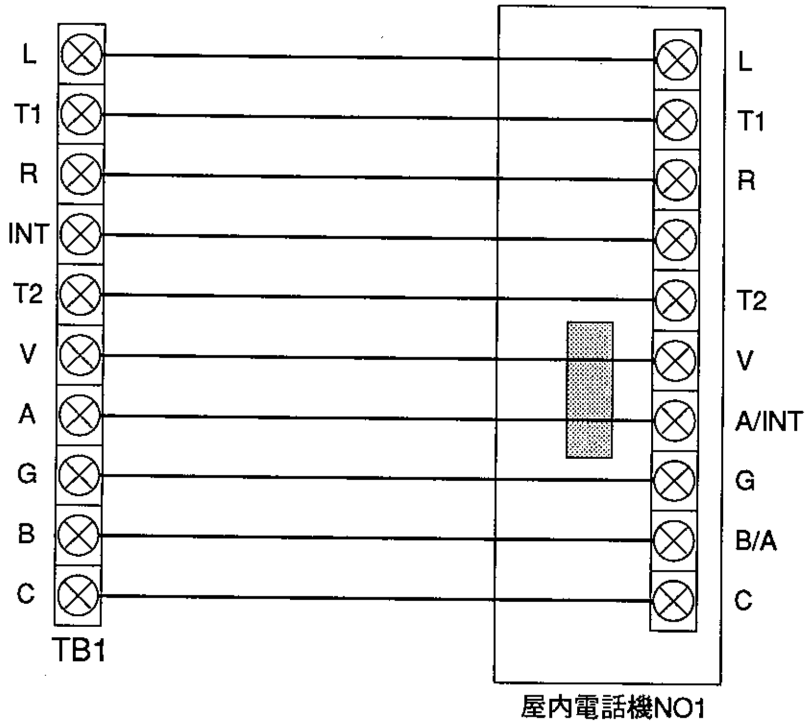
・CSD9-GPMDU-A1 外観図



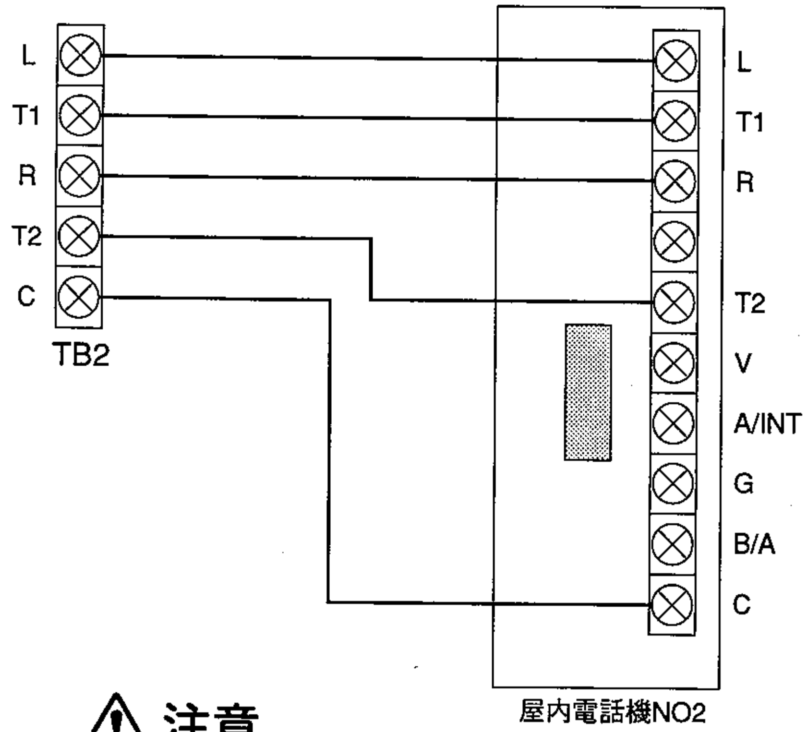

・CSD9-SGPMDU-A1 外観図



① CSD9-GPMDU-A1 TB1の接続



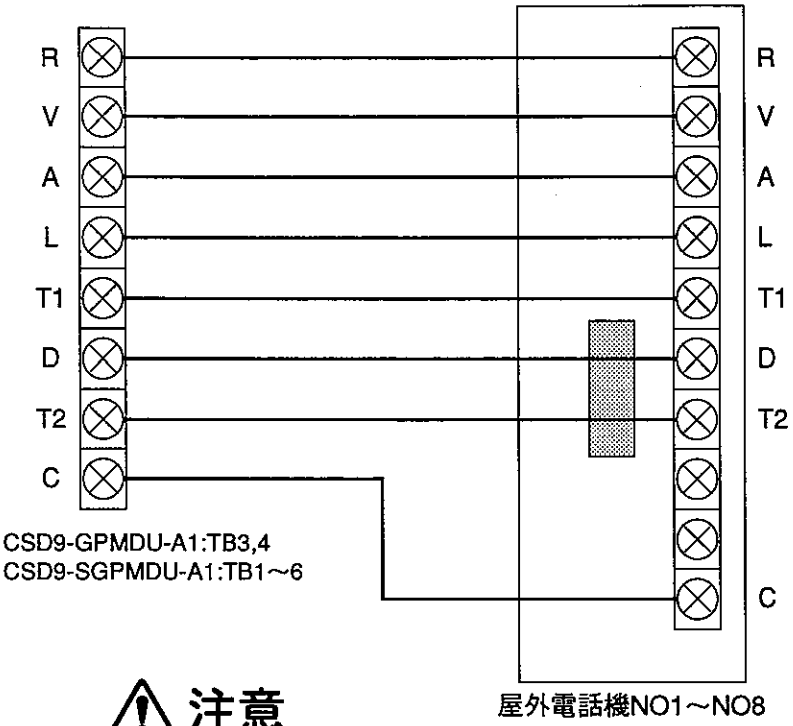

② CSD9-GPMDU-A1 TB2の接続




## ⚠ 注意

GPMDUで屋内電話機を接続しない端子は、LとT1端子間を短絡して下さい。

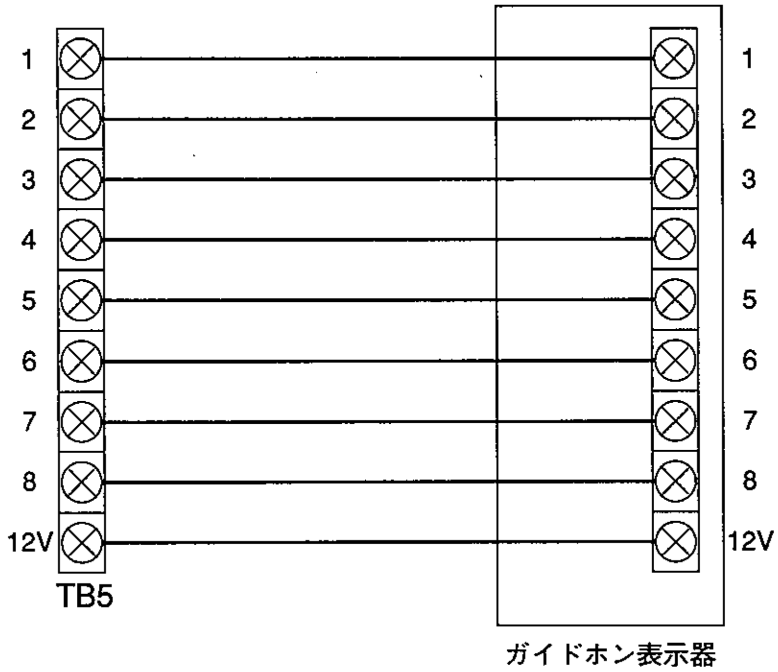
③　CSD9-GPMDU-A1　TB3、4およびCSD9-SGPMDU-A1　TB1～6の接続



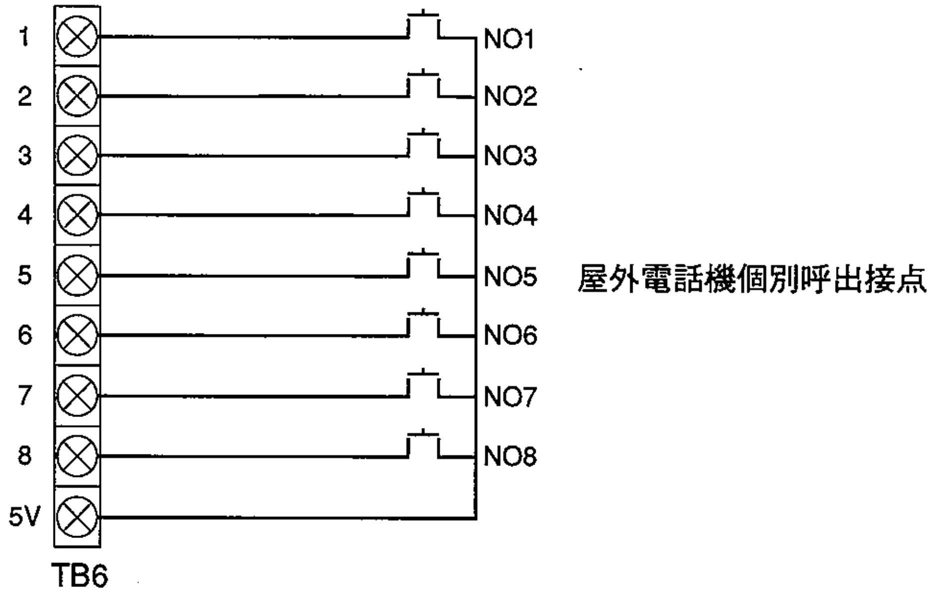

⚠注意

GPMDU及びSGPMDUで屋外電話機を接続しない端子は、
T1とDの端子間を短絡して下さい。

④　CSD9-GPMDU-A1　TB5の接続



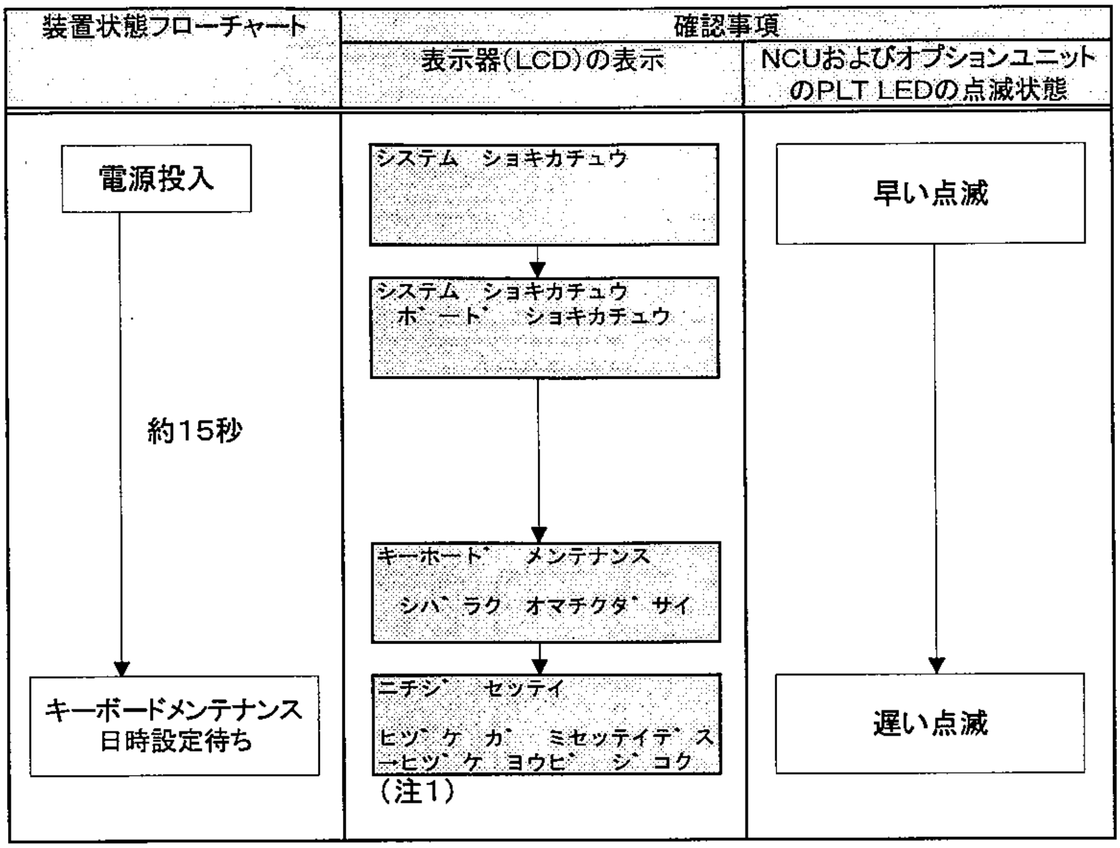
⑤ CSD9-GPMDU-A1 TB6の接続




⚠ **注意** GPMDU及びSGPMDUに屋内・屋外電話機を接続する場合、その配線は、AC電源線と一緒にひきまわさないようにして下さい。又、架空配線を行う場合は、必ず$T_1$-$T_2$の通話線に保安器をいれるようにして下さい。

# 7.10 電源投入後の確認

設置工事完了後、電源を投入し下記項目の内容を確認してください。

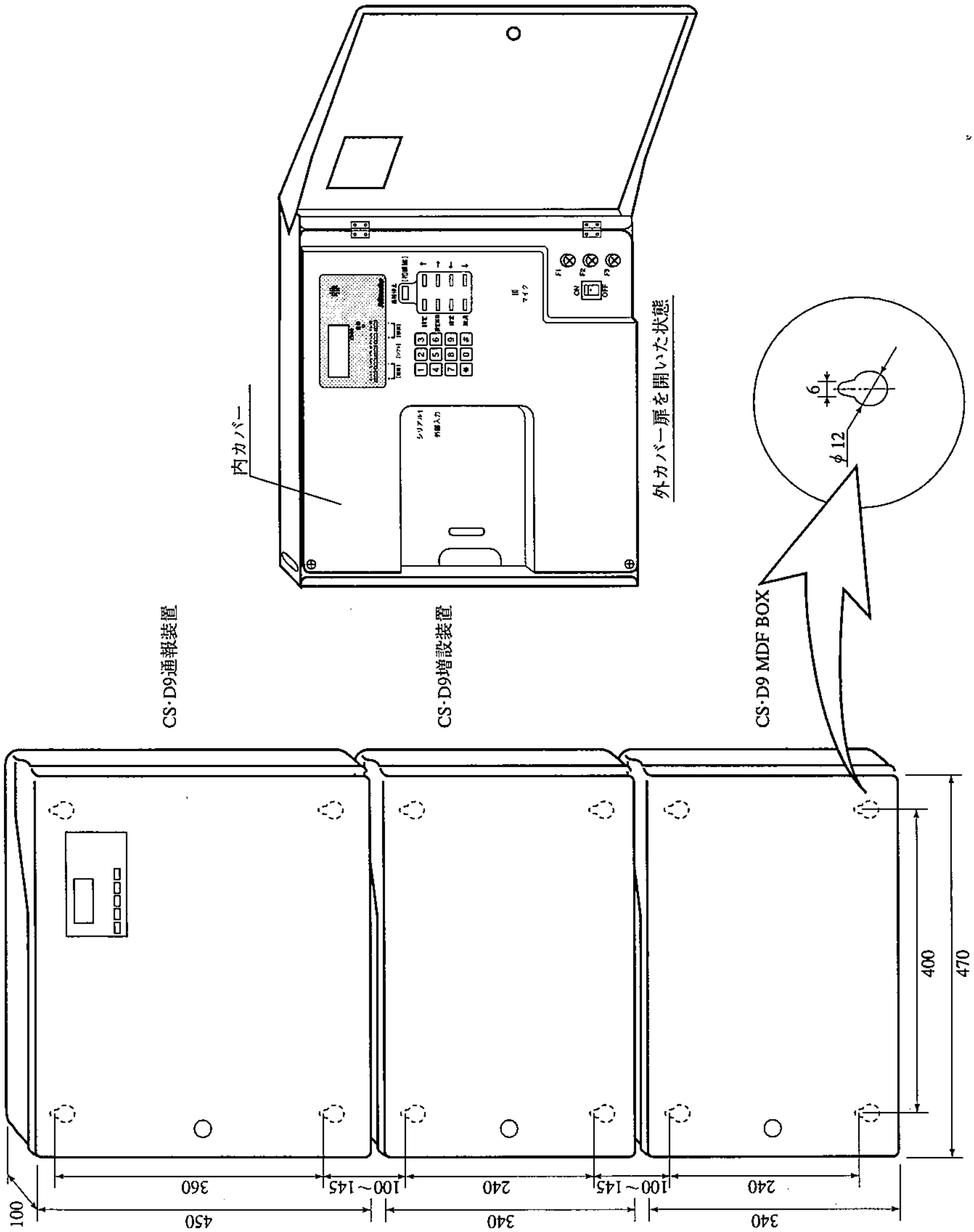



注1. 日時設定およびシステムデータ設定については、「CS･D9 ICカード取扱説明書」をご覧ください。

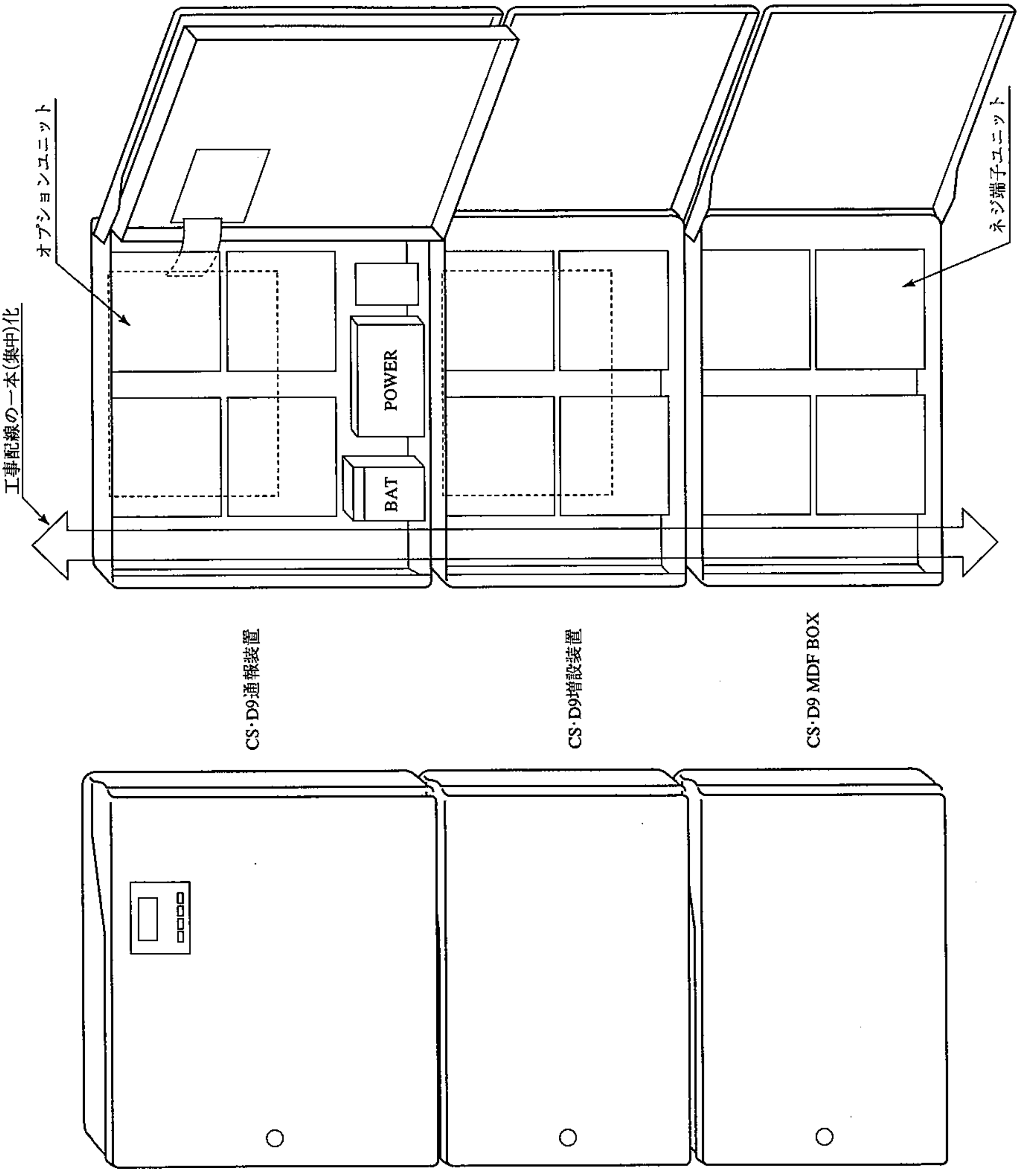
表示器(LCD)の表示が下図のようになった場合、修理が必要となります。

ｼｽﾃﾑ ｼｮｷｶﾁｭｳ
RAM ｴﾗｰ

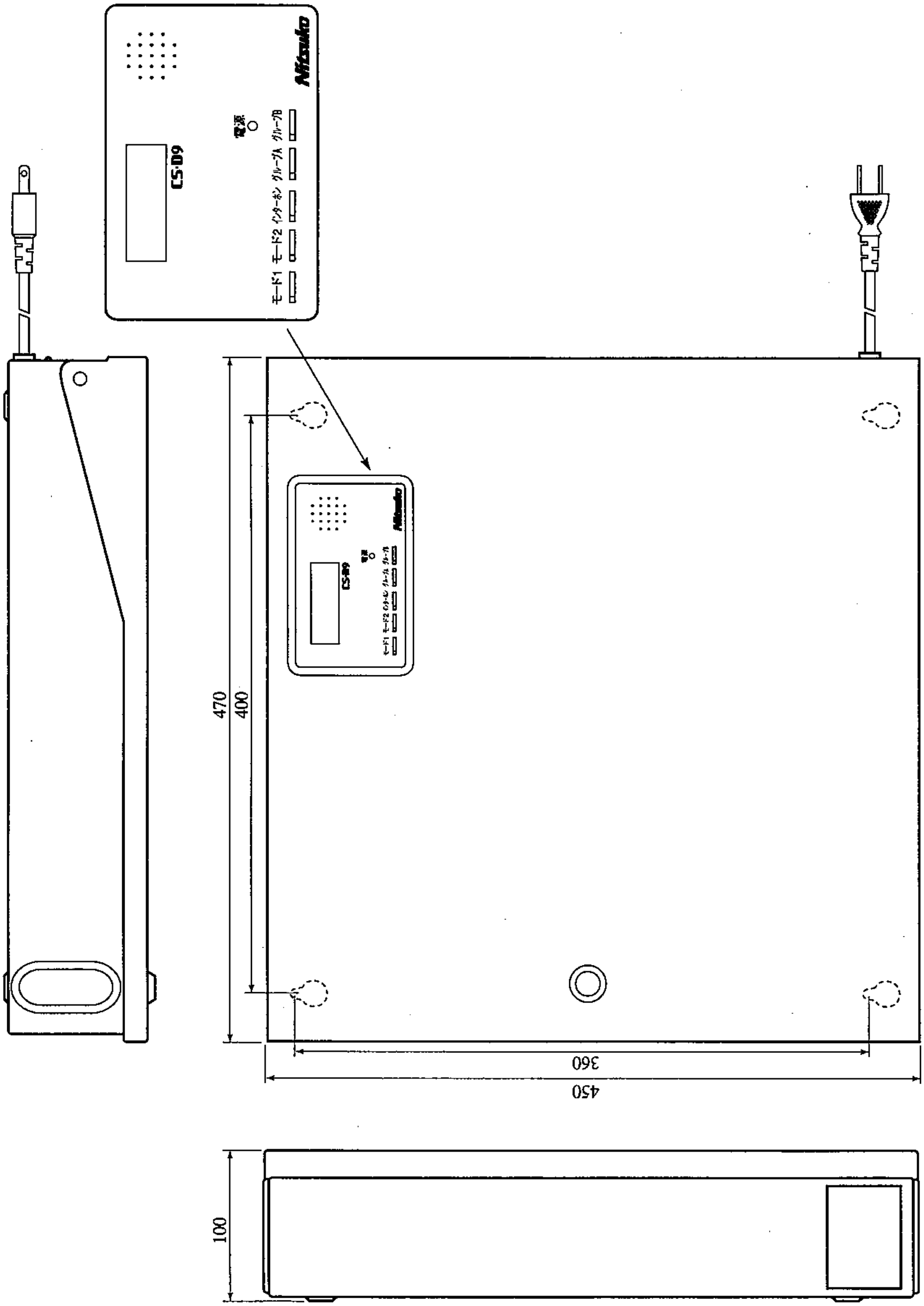
# 付録　コルソスCS・D9通報装置システム外観図



# 付録　コルソスCS・D9通報装置システム外観図

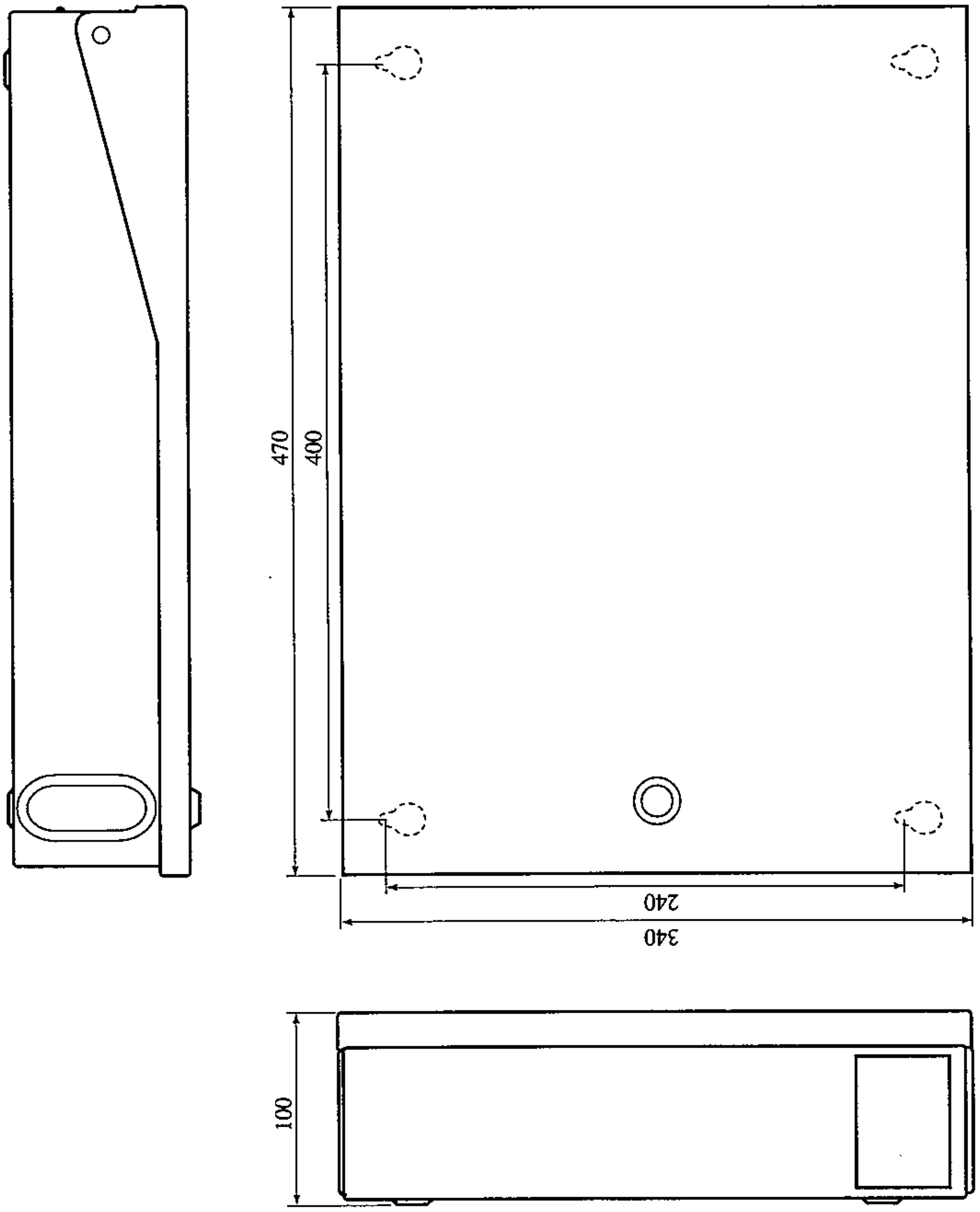


# 付録　コルソスCS・D9通報装置システム外観図




◆CS・D9通報装置

# 付録　コルソスCS・D9通報装置システム外観図




◆CS・D9増設装置およびMDF BOX

Nitsuko
日通工株式会社

■お問合せ先
国内営業本部　TEL.03-5282-5842（代表）

本社〒213-8511　川崎市高津区北見方2-6-1　Tel.044-811-1111（大代表）

MM5962-0630